

2024年度

(令和6年度)

事業報告書 決算報告書

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

目 次

事 業 報 告 書

《 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 》

I. 実施事業

- 1. 人材確保及び技術・技法継承事業・ 1
- 2. 産地指導事業・ 3
- 3. 普及推進事業・ 6
- 4. 需要開拓事業・ 1 2
- 5. その他の振興事業・ 1 8

II. 法人の概況・ 2 0

- 1. 設立年月日
- 2. 定款に定める目的
- 3. 定款に定める事業内容
- 4. 会員の状況
- 5. 主たる事務所の状況

III. 役員会等に関する事項

- 1. 評議員会の開催・ 2 1
- 2. 理事会の開催・ 2 1
- 3. 評議員選定委員の開催・ 2 2
- 4. 伝統的工芸品産地連絡会議の開催・ 2 3
- 5. 業務執行会議の開催・ 2 3
- 6. 評議員・ 2 3
- 7. 理事・監事・ 2 3
- 8. 評議員選定委員・ 2 4

IV. 庶務事項

- 1. 基本財産の造成・ 2 5
- 2. 会員名簿・ 2 6
- 3. 事業報告の附属明細書・ 3 2

決 算 報 告 書

《 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 》

I. 財務諸表・ 3 3

事業報告書

I. 実施事業

1. 人材確保及び技術・技法継承事業

伝統工芸士認定事業では、伝統的工芸品産業の根幹である伝統的技術・技法を継承するため、実技試験の厳正な実施を強化するとともに、面接試験により「産地の技術者のリーダー」として伝統工芸士の役割が改めて認識されるよう求めた。認定を受けた伝統工芸士の5年毎の更新においても、更新試験により産地協力への確認を求め、伝統工芸士の価値を高めることとした。また、現役を引退した元伝統工芸士で、高い技術や見識により、第一線で働く技術者のお手本と呼べる存在である方には、「名誉伝統工芸士」の称号を贈り、その実績に敬意を表し、引き続き産地振興へのご協力をお願いした。

さらに、伝統工芸士が仕事を続けていく上で役に立つことを学び、伝統工芸士同士のコミュニケーションを活発にするべく、伝統工芸士会による勉強会を後押しする「伝統工芸士のための知見向上支援事業」を実施した。

「学生等に対する伝統的工芸品教育事業」では、暮らしの中での和の味わいと関連させつつ、工芸品に関心を引き起こすため、工芸品製作体験をさせるだけでなく、現代生活での使用例を示すよう産地に促した。

「後継者育成事業」では、新規もしくは若手従事者の指導を支援する「若手従事者育成事業」を実施することにより、円滑な技術・技法習得の推進、産地後継者同士の連携と育成を支援した。

(1) 伝統工芸士認定等事業

① 伝統工芸士の認定

経済産業大臣指定伝統的工芸品等の製造に関する伝統的な技術・技法に熟練した従事者の認定を行い、その知識・技術・技法の向上を図り、もって伝統的工芸品産業の振興に寄与することを目的として、従事年数12年以上の技術者を対象に試験を実施し、合格者の認定登録を行った。また、面接試験により「産地の技術者のリーダー」として産地振興に果たすべき伝統工芸士の役割が改めて認識されるよう求め、伝統工芸士の価値を高めることとした。

a. 審査委員会委員（50音順・敬称略）

委員長	増村 紀一郎	漆芸家、東京芸術大学名誉教授、重要無形文化財[髹漆]保持者
副委員長	加島 勝	大正大学名誉教授・特遇教授
委員	桑原 博	塩沢織物工業協同組合理事長 / 本塩沢伝統工芸士
	柴田 治之	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長
	竹田 浩己	愛知県絞工業組合理事長
	戸田 敏夫	日本伝統工芸士会会長 / 江戸指物伝統工芸士
	原田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事
	藤岡 春樹	京表具協同組合連合会理事長
	山口 徳彦	経済産業省伝統的工芸品産業室長

b. 認定試験の実施等

申請産地数・申請者数	44工芸品41産地	111名
実施産地数・受験者数	44工芸品41産地	110名
合格者数	42工芸品40産地	100名
登録者数	42工芸品40産地	100名（2025.2.25付）
認定者数累計		8,454名

c. 伝統工芸士審査委員会の開催

第1回審査委員会	2024. 8. 5	於：協会（オンラインを併用）
第2回審査委員会	2024. 12. 18	於：協会

d. 実技試験視察

実技試験の実施状況について、審査委員及び経済産業省職員、協会職員が視察を行った。

・江戸和竿	2024. 9. 10
・十日町緋	2024. 9. 18
・三州鬼瓦工芸品	2024. 10. 3
・江戸切子	2024. 10. 3
・江戸木版画	2024. 10. 3
・若狭塗	2024. 10. 3
・岡崎石工品	2024. 10. 8
・二風谷イタ	2024. 10. 15
・奥会津編み組細工	2024. 10. 17
・八重山上布／ 八重山ミンサー	2024. 10. 18
・江戸表具	2024. 10. 18
・京石工芸品	2024. 10. 22
・津軽塗	2024. 10. 23

② 伝統工芸士更新試験

伝統工芸士名簿に登録後、5年毎に受講し、伝統工芸士の技術及び知識水準の維持・向上を図る目的で、技術水準の保持に加え産地振興への協力意思の確認を求めるよう実施。2019年度の更新研修会受講者と認定登録者、および昨年度に産地事情や病気等で受験できなかった伝統工芸士が対象。

[産地の取り組み状況]

受講対象者を擁する産地	116産地（対象者632名＋組合都合で繰上げ受験3名）
次年度繰延べ	23産地（35名）
対象者全員が称号返上	3産地（8名）
受験者都合の繰延べ・返上	116名
更新試験実施申請	90産地（476名）

[更新試験実施状況]

実施期間	2024. 8. 1～11. 4
実施産地	87産地（3産地は組合都合による繰延べ）
受験申請者数	442名（34名は受験者もしくは組合都合による繰延べ）
合格者数	438名

③ 伝統工芸士叙勲の推薦

伝統工芸士の長年の産地振興の功績に対する叙勲（Ⅱ類）について、当協会の推薦により次の伝統工芸士32名が受章した。

受章者数 32名（累計1,368名 男性：1,267名 女性：101名）

＜2024. 4. 29＞ 12名 瑞宝単光章

大津 廣 司（笠間焼）	津田 朝 喜（金沢箔）
大矢 博 司（京友禅）	針谷 祐 之（山中漆器）
後藤 和 弘（京鹿の子絞）	藤谷 る み 子（二風谷アットゥシ）
小林 昭 夫（西陣織）	南 祐 和（本場大島紬）
小林 重 信（会津漆器）	矢 吹 覺（江戸べっ甲）
芝原 重 志（川辺仏壇）	山口 秀 夫（新潟・白根仏壇）

＜2024. 11. 3＞ 20名 瑞宝単光章

磯部 幸克（笠間焼）	田山 和康（南部鉄器）
稲田 俊雄（大阪仏壇）	十時 開次（上野焼）
浦上 光弘（備前焼）	富山 高吉（京鹿の子紋）
大上 巧（丹波立杭焼）	中村 和富（京表具）
上村 米重（京友禅）	服部 正和（越前漆器）
北村 隆（九谷焼）	吹上 重雄（西陣織）
工藤 健蔵（津軽塗）	本多 一義（越前打刃物）
榊 雅美（京漆器）	森山 金光（小石原焼）
柴田 慶信（大館曲げわっぱ）	山岡 昇（京焼・清水焼）
田邊 慶子（東京手描友禅）	山本 芳博（播州三木打刃物）

④ 伝統工芸士のための知見向上支援事業

伝統的工芸品の製造に関する知識、技術・技法の向上・継承や産地振興への意識向上のため、伝統工芸士を中心とした講習会を実施した。

実施産地 2産地
受講者数 43名

（2）学生等に対する伝統的工芸品教育等事業

伝統工芸士等の職人が、児童・生徒・学生に対して、伝統的工芸品の生活の中での使われ方や特性、技術・技法、原材料に関する講習や、工芸品の製作体験を実施することにより、児童・生徒・学生の伝統的工芸品に関する興味や地元の地域産業への関心を高めることを目指した。

実施産地組合数	109産地組合	（前年度	104産地組合）
実施件数	509件	（前年度	504件）※いずれも延べ申請件数
受講者数	25,041名	（前年度	23,879名）
延べ実施日数	527日	（前年度	521日）

また、「次世代開拓事業」の実施を通し、大学等の高等教育機関と連携して社会人を眼前にした学生を対象に、伝統的工芸品に対する知識・理解を深め、職業としての選択肢となることを目的とした製作体験・講義を行った。

実施件数 6件
参加者数 146名

（3）後継者育成等事業

漆に関係する産地の若手従事者に対して漆技術の実技研修ならびに幅広い知識と目標設定のための講習会を開催し、併せて参加者の産地を越えた交流を図った。

参加者 5産地／16名（会津塗、越前漆器、仙台筆筥、尾張仏具、京仏壇／京仏具）
講演 内田篤呉 MOA美術館・箱根美術館 館長「伝統的工芸品の現在と課題」
田山貴紘 タヤマスタジオ株式会社 代表 「南部鉄器産業アップデートの取り組み」

2. 産地指導事業

伝統的工芸品の表示に関して、産地の伝統証紙の検査体制の確認及び指導を行うとともに、伝統技術・技法を継承した製品への協会証紙の貼付推進に努めた。また、産地の実勢調査（生産額、従事者等）や原材料、道具等に関する調査、地方自治体の伝産関連事業者支援予算調査を実施した。加えて、意欲とポテンシャルのある産地組合、事業者に外部コンサルタントを派遣し、産地が抱える課題の把握や、産地補助金申請等による課題克服を支援した。このほか、産地同士あるいは産地と伝産協会の連携を深めるためのネットワークを運用した。

(1) 伝統的工芸品表示等事業

① 検査体制の整備促進事業

伝統的工芸品表示の適正化及び実施促進を図るため、下記の23産地24工芸品に対し職員が出向き、現地指導を行った。

産地組合検査指導実施産地

2024.	7.11	大館曲げわっぱ
2024.	7.12	樺細工
2024.	9.26	播州三木打刃物
2024.	9.27	土佐和紙
2024.10.15		二風谷アットゥシ、二風谷イタ
2024.10.18		奈良墨
2024.10.25		小石原焼、江戸表具
2024.11.15		雄勝硯
2024.12.6		首里織
2025.	2.18	越後三条打刃物
2025.	2.19	新潟・白根仏壇
2025.	2.20	新潟漆器
2025.	2.21	本場大島紬、東京手描友禅
2025.	2.26	京くみひも、江戸切子
2025.	3.7	山中漆器
2025.	3.11	越前箆笥
2025.	3.12	越前打刃物
2025.	3.14	一位一刀彫、美濃和紙
2025.	3.26	奥会津編み組細工

② 伝統的工芸品の表示の推進

伝統証紙を発行するとともに、産地組合の伝統マーク利用の促進に努めた。また、産地の表示事業活用を促進するため、表示事業検討委員会を開催し、表示事業をわかりやすく利用しやすいものとなるよう改善案の検討を進めた。

a. 伝統証紙事業（素材証紙含む）

・発行枚数 合計189,500枚（前年度165,600枚）

業種別内訳

染織品	34,100枚	陶磁器	5,000枚
漆器	3,000枚	木工品・竹工品	58,000枚
金工品	5,000枚	仏壇・仏具	400枚
和紙・文具	40,000枚	石・人形・諸工芸品	44,000枚

・発行先数 27産地組合

b. 伝統マーク使用状況 総件数285件（前年度314件）

・パンフレット・ちらし・カタログ

地方公共団体	18件	産地組合等	33件	企業等	19件	計	70件
--------	-----	-------	-----	-----	-----	---	-----

・ダイレクトメール・はがき・封筒等

地方公共団体	0件	産地組合等	9件	企業等	0件	計	9件
--------	----	-------	----	-----	----	---	----

・ポスター・パネル等

地方公共団体	6件	産地組合等	20件	企業等	7件	計	33件
--------	----	-------	-----	-----	----	---	-----

・看板等

地方公共団体	5 件	産地組合等	1 1 件	企業等	5 件	計	2 1 件
・新聞広告							
地方公共団体	0 件	産地組合等	1 1 件	企業等	1 件	計	1 2 件
・その他（名刺、HP、教材誌等）							
地方公共団体	1 4 件	産地組合等	9 6 件	企業等	3 0 件	計	1 4 0 件

c. 表示事業検討委員会

活用を促進したい伝統証紙および、一部産地のみが利用している素材証紙の問題を共有し、より産地に活用してもらいやすい表示事業となるよう、また、伝統証紙の新たな付加価値について検討を進めた。

・表示事業検討委員会委員（50音順・敬称略）

委員長	加 島 勝	大正大学名誉教授・特遇教授
委員	檜 崎 亮 一	八王子織物工業組合理事長
	河 井 隆 徳	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会常務理事
	小 林 満	伊勢形紙協同組合理事長
	小平真滋郎	西陣織工業組合理事長 ※第3回のみ
オブザーバー	高 瀬 淳	会津漆器協同組合理事長
		一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会業務執行理事
	竹 森 臣	熊野筆事業協同組合理事長
	戸 田 敏 夫	日本伝統工芸士会会長
	福 井 隆 一 郎	堺刃物商工業協同組合連合会理事長
	舞 鶴 一 雄	西陣織工業組合理事 ※第4回のみ
		一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会副代表理事
	水 本 安 長	協同組合加賀染振興協会理事長
	安 田 洋 子	一般社団法人日本百貨店協会顧問
	山 口 徳 彦	経済産業省伝統的工芸品産業室長
オブザーバー	池 田 喜 政	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会監事
	原 田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事
	佐 藤 卓	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会専務理事

・表示事業検討委員会の開催

第3回	2024.12.20	於：協会（オンライン併用）
第4回	2025. 2.26	於：協会（オンライン併用）

（2）伝統的工芸品産地調査・診断等事業

① 産地実勢調査

伝統的工芸品産業の実勢の把握を目的として、産地における生産額、企業数及び従事者数に関する「実勢調査」を実施した。

② 自治体伝統的工芸品産業支援関連予算調査

都道府県、協会会員政令指定都市、市町村並びに指定告示において「主な製造地域」となっている自治体に対し、伝統的工芸品産業従事者が活用できる予算についての調査を行い、当協会事業の参考とすると共に、自治体との連携推進の一助とした。

③ 原材料、道具等に関する調査

各産地が抱える原材料や道具に関する状況把握を目的として、各産地に対して流通ルートに関する調査を実施した。また、調査結果を元に、傾向分析及びデータベース化を行った。

（3）コンサルタント産地支援等事業

産地が抱える課題の把握と課題克服のため、下記の3産地に対して、課題の把握や専門家とのマッチングにより課題解決を目指し、伝産法に定められた「振興計画等」の作成や補助金申請等を支援し

た。(実施産地 博多織、輪島塗、熊野筆)

また、令和6年能登半島地震で被災した産地の事業者の事業再開を支援するため、専門的知識を有する者を派遣した。(実施件数874件)

(4) 産地ネットワーク構築等事業

伝統的工芸品産業の関係者の間に幅広いネットワークを築き、情報共有の範囲を広げることで効率的な事業の実施や支援に繋げるため、電子掲示板およびメール直送便の運営を行った。また、伝統的工芸品産地の従事者や生産額、協会事業の利用状況など産地のデータを俯瞰して見ることにより問題の解決策を提案する基礎資料とすることを目的として、産地の情報を集約したカルテを作成するシステムの運用を行った。

3. 普及推進事業

「伝統マーク」「伝統工芸士」等の周知拡大をさらに推進し、官民一体の伝統的工芸品月間事業、総合展示・情報発信施設としての「伝統工芸青山スクエア」の運営と来店誘致のPR施策を行い、伝統的工芸品の既存・新規ユーザーへの興味喚起を促進した。加えて、伝統的工芸品の技の一端を視覚的に紹介するイメージ映像を作成し、YouTube等で公開したほか、SNS等現代のライフスタイルに合わせたWEBメディアにての情報配信を積極的に行った。

(1) 伝統的工芸品普及等事業

伝統的工芸品の認知拡大のため、「伝統工芸青山スクエア」の周知並びに「伝統工芸士」「伝統マーク」の認知拡大に注力した広報活動を行った。

① メディア活用

【紙媒体】 ・ いけばなインターナショナル会報誌 (1回)

・ 東京キモノショーガイドブック (1回)

・ 雑誌 (37誌)

【SNS】 ・ Instagram

・ X

【交通広告】 ・ 羽田空港 第3ターミナル(国際線) 2階到着コンコース デジタルサイネージ掲出
(7月、11~2月)

・ 「都営地下鉄大江戸線」ナビタ掲示板掲出

・ 青山一丁目駅 メトロナビマップ (12,000部)

② 販促物の作成

・ 伝統工芸青山スクエアダイレクトメール (3か月ごとの催事案内、全4回)

・ 伝統工芸青山スクエア卓上カレンダー (1回)

・ 「伝統工芸青山スクエア」三つ折りパンフレット (日本語3万部、英語・中国語1万部)

・ 伝統的工芸品イラストマップ243品目 (日本語2万部、英語7,500部)

・ 伝統マークチラシ英語版 (1,000部)

③ 映像制作

・ 伝統的工芸品映像 手技「TEWAZA」(6産地)

鎌倉彫・砥部焼・越前焼・浄法寺塗・因州和紙・東京三味線

・ 映像公開 103産地 (YouTubeチャンネル「伝統工芸青山スクエア」)

視聴回数 862,609回 (国内463,206回 海外399,403回)

(2) 伝統工芸青山スクエア等事業

伝統的工芸品の消費者に向けた認知拡大、普及及び需要開拓、産地事業者の市場ニーズ把握を目的

に、経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合展示場として運営。前年度末に着手した展示施設の改善により、見やすい展示を行うとともに、モニター台数を増やして工芸品の製作風景や技術・技法を紹介する動画を随時放映するなど、来場者に理解を深める環境の改善を行った。また日本の文化を紹介する上で重要である季節や暦の変化に合わせた季節展示コーナーの拡大と、新規の製作実演・製作体験教室の取り組みを進め、来場者が伝統的工芸品に広く接することが出来る環境の構築に努めた。

前年度は新型コロナウイルス禍収束によって人流（特に日本人）が活発になり、好調な来場数を記録したが、本年度は地方への移動が活発になったことと猛暑や豪雨など気候の急変が要因となり来場者数は微減となった。インバウンドの来場者は堅調であったが、柱となる日本人に対する来場促進が課題となった。反面、国内における伝統的工芸品など産地の製品を魅力的な商材と見る民間事業者の問い合わせや小学校の課外授業、中高生の修学旅行、大学生や海外の団体など見学希望は増加の一端を辿り、セミナーや見学会も数多く実施。認知拡大や工芸品を取り巻く環境の理解に務めた。

前年1月に発生した能登半島地震による被災産地に対する来場者の反応は落ち着きを見せたが今年度前半に開催した応援フェアでは、日本人のみならずインバウンド来場者の関心も高く、特に輪島塗の支援（作品購入を通じた）が多く寄せられた。青山スクエアとして義援金募集や輪島塗の展示強化などの支援に関しては引き続き実施していく。

また来場者に各産地の魅力を更に理解してもらうため、①常設展の更なる展示施設の改善、②青山スクエア独自の工芸品提案コーナーの構築、③ITシステムを利用した情報発信（商品カードにQRコード添付など）を計画し、国内唯一の伝統的工芸品の総合展示施設としてより魅力ある展示を進め、更なる認知拡大を図っていくこととする。また、InstagramやYouTube等のSNSは引き続き積極的に活用し情報発信を進めていく。

総合的な課題としては、①中心となる日本人に対する来場促進（固定化を含むファン作り）、②堅調な来場者である外国人（インバウンド）への対応（多言語化、海外配送などサービスの充実）の2点とし、集客力の向上と再来店の促進を図っていく。

① 入場者数70,197名（月平均5,850名）（前年度73,782名／月平均6,149名）

② 常設展示＝116工芸品＋3工芸材料・用具（前年度116工芸品＋3工芸材料・用具）

【織 物】 1 1 村山大島紬、多摩織、小千谷縮、小千谷紬、信州紬、牛首紬、西陣織、阿波正藍しじら織、博多織、久留米緋、本場大島紬

【染 色 品】 4 浪華本染め、有松・鳴海絞、京鹿の子絞、京友禅

【その他繊維】 2 伊賀くみひも、京くみひも

【陶 磁 器】 2 5 大堀相馬焼、会津本郷焼、笠間焼、益子焼、九谷焼、美濃焼、常滑焼、赤津焼、瀬戸染付焼、四日市萬古焼、伊賀焼、三州鬼瓦工芸品、京焼・清水焼、丹波立杭焼、出石焼、備前焼、萩焼、砥部焼、上野焼、伊万里・有田焼、三川内焼、波佐見焼、小代焼、薩摩焼、壺屋焼

【漆 器】 1 6 津軽塗、秀衡塗、川連漆器、会津塗、鎌倉彫、村上木彫堆朱、木曾漆器、高岡漆器、輪島塗、山中漆器、飛騨春慶、越前漆器、若狭塗、紀州漆器、大内塗、香川漆器

【木 工 品】 1 2 岩谷堂箆笥、仙台箆笥、樺細工、大館曲げわっぱ、箱根寄木細工、加茂桐箆笥、南木曾ろくろ細工、井波彫刻、京指物、大阪唐木指物、豊岡杞柳細工、紀州箆笥

【竹 工 品】 4 駿河竹千筋細工、別府竹細工、紀州へら竿、都城大弓

【金 工 品】 9 南部鉄器、東京銀器、燕鋳起銅器、高岡銅器、越前打刃物、堺打刃物、大阪浪華錫器、肥後象がん、越後三条打刃物

【仏壇・仏具】 4 八女福島仏壇、広島仏壇、山形仏壇（交替出品）

【和 紙】 7 越中和紙、美濃和紙、越前和紙、因州和紙、石州和紙、阿波和紙、土佐和紙

【文 具】 6 豊橋筆、奈良筆、熊野筆、川尻筆、赤間硯、播州そろばん

【石 工 品】 2 甲州水晶貴石細工、京石工芸品

- 【人 形】 5 宮城伝統こけし、江戸木目込人形、岩槻人形、江戸節句人形、博多人形
 【諸 工 芸 品】 9 天童将棋駒、江戸からかみ、江戸切子、江戸硝子、江戸木版画、甲州印伝、尾張七宝、京扇子、京うちわ
 【材料・用具】 3 庄川挽物木地、金沢箔、伊勢形紙

③ 特別展示

a. 特別展の開催

特別展28回（※「公募展」を除く）、匠コーナー41回を開催し、延べ154工芸品（前年度153工芸品 ※「公募展」を除く）の指定工芸品等を展覧に供し、作り手と使い手との交流や情報の交換の機会拡大に努めた。5月には伝産法施行50周年記念催事を開催、「くまもん」を招聘するなど集客拡大に向けた施策を図った。

b. 消費者参加企画

特別展・匠コーナーの特別展示開催に併せて製作実演及び体験教室を実施。特にGWや夏休み期間など小学生ファミリー層の来場が増える時期に体験教室の開催を強化し、若年層への啓蒙と伝統的工芸品の理解促進に努めた。また、2階会議室を特別会場としグループを対象に製作体験教室を開催（紀州漆器蒔絵、九谷焼絵付け）するなど新たな体験参加の機会を創出した。

④ その他事業

a. ぬりもの・やきものクリニック

‘漆芸しばた’（輪島塗）の協力により、漆器・陶磁器の無料相談（修理希望者には実費修理）を実施した。（12回）

b. きものクリニック

昨年に続き元三越本店呉服売場勤務の宮原氏、現勤務の小林氏の協力により、長期間着用のない呉服のお直しや再利用のためのアドバイス、着こなしのご相談など和服の幅広いお客様からのお問い合わせに無料にて対応。また、小学生を中心とした展示品の見学来場者に対してその歴史や作成方法をレクチャーし、伝統的工芸品の認知拡大に努めた（51回）

また全国の指定産地の染織品を一堂に展示するイベントを2回開催し（5月10日～13日、10月11～14日）、更なる訴求に努めた。

c. 友の会の運営

会員数18,027名（2025.3.31現在）（前年度16,080名）

d. 外部展示協力

羽田空港ラウンジ内ショーケースへの伝統的工芸品の展示を行った。

・第一旅客ターミナル

POWER LOUNGE SOUTH / POWER LOUNGE NORTH（ゲート内2F）

POWER LOUNGE CENTRAL（ゲート外1F）

・第二旅客ターミナル

POWER LOUNGE NORTH（ゲート内3F）

POWER LOUNGE CENTRAL（ゲート外3F）

POWER LOUNGE PREMIUM（国際線エリアゲート内3F）

（3）伝統的工芸品月間推進等事業

経済産業省の省議決定で創設された「伝統的工芸品月間」を中心に、伝統的工芸品の国民生活への浸透を推進するため、以下の事業を実施した。

① 「第41回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催

共 催 経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、石川県

日 時 2024.11.7 14:00～15:00

会 場 石川県小松市團十郎芸術劇場うらら（石川県小松市）

参加人数 785名

式次第 主催者挨拶 経済産業省大臣官房商務・サービス審議官 南 亮

	石川県知事	馳 浩
歓迎の辞	小松市長	宮 橋 勝 栄
表 彰	経済産業大臣表彰（功労賞 38 名、奨励賞 4 名）	
	中部経済産業局長表彰（11 名）	
受賞者代表挨拶	輪島漆器商工業協同組合 監事	加 藤 勇
	金沢箔伝統工芸士	田 中 年 雪
祝電披露		
大会宣言	（一財）伝統的工芸品産業振興協会代表理事	原 田 元

② 「第 42 回全国伝統工芸士大会」の開催

共 催 日本伝統工芸士会

a. 式典

日 時	2024.11.7 15:15～16:00	
会 場	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら（石川県小松市）	
参加人数	785名	
式 次 第	歓迎挨拶	大会運営委員長 山 本 篤
	主催者挨拶	日本伝統工芸士会会長 戸 田 敏 夫
	黙祷	
	来賓等挨拶	
	参加伝統工芸士会紹介	
	総会報告	
	叙勲受章者紹介	
	功労者表彰	
	受賞者謝辞	常滑焼伝統工芸士 渡 辺 角 幸
	第 26 回日本伝統工芸士会作品展表彰	
	三井ゴールデン匠賞紹介	
	閉会挨拶	日本伝統工芸士会副会長 林 克 美

b. 懇親会

日 時	2024.11.7 18:00～20:00	
会 場	山代温泉みやびの宿 加賀百万石（石川県加賀市）	
参加人数	522名	
式 次 第	開宴のことば	日本伝統工芸士会会長 戸 田 敏 夫
	歓迎挨拶	加賀市長 宮 元 陸
	来賓紹介	
	鏡開き	
	乾杯	中部経済産業局長 寺 村 英 信
	余興	山中青年団「獅子舞」
	次期開催地挨拶	日本伝統工芸士会副会長 岩 間 奨
	閉宴のことば	日本伝統工芸士会副会長 坪 井 秀 夫
	三井ゴールデン匠賞紹介	
	閉会挨拶	日本伝統工芸士会副会長 林 克 美

③ 「2024 TEWAZA LIVE・石川」の開催

伝統的工芸品の普及及び啓蒙促進を目的として開催するとともに、報道関係者等に対しての周知を図った。

後 援 経済産業省、石川県伝統的工芸品月間推進協議会

青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、山梨県、長野県、静岡県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎

県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、京都市
 全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、独立行政法人中小企業基盤整備機構
 会 期 2024.11.8～11.10
 会 場 金沢21世紀美術館、石川県政記念しいのき迎賓館
 入 場 者 約105,000人（関連催事を含む、11月8～11日の4日間）
 催事内容

- ・製作実演 11工芸品

【織 物】近江上布	【染 色 品】加賀友禅
【陶 磁 器】九谷焼	【漆 器】高岡漆器
【漆 器】輪島塗	【木 工 品】江戸指物
【木 工 品】井波彫刻	【竹 工 品】岐阜和傘
【石 工 品】真壁石燈籠	【仏壇・仏具】金沢仏壇
【諸 工 芸】八女提灯	
- ・製作体験 13工芸品

【織 物】本場大島紬	【その他繊維】京繻
【陶 磁 器】九谷焼	【陶 磁 器】伊万里・有田焼
【木 工 品】大館曲げわっぱ	【木 工 品】奥会津編み組細工
【木 工 品】紀州へら竿	【仏壇・仏具】三条仏壇
【文 具】奈良筆	【人形・こけし】宮城伝統こけし
【諸 工 芸】江戸木版画	【諸 工 芸】甲州手彫印章
【諸 工 芸】京表具	【用具・材料】金沢箔
- ・特別展示

「漆が出来るまで」（展示）	一般社団法人日本漆工協会
「三井ゴールデン匠賞作品展示」	三井広報委員会
「全国の産地魅力発見」（都府県PRコーナー）	
「テーブルコーディネート」伝統的工芸品テーブルコーディネート	
- ・イベントステージ
 - ・奄美の島唄披露（鹿児島県本場大島紬協同組合連合会）
 - ・山鹿灯籠踊り（山鹿灯籠踊り保存会）

④「2024 CRAFT MARKET・石川」の開催

一般来場者が全国の伝統的工芸品の産地と直接向かい合い製品に触れていただくことで、伝統的工芸品の顧客の拡大を図った。

後 援 経済産業省、石川県伝統的工芸品月間推進協議会、全国中小企業団体中央会、
 全国商工会連合会、独立行政法人中小企業基盤整備機構
 会 期 2024.11.8～11.10
 会 場 石川県政記念しいのき迎賓館
 出展工芸品 39品目
 入 場 者 約105,000人（関連催事を含む、11月8～11日の4日間）

⑤「第26回日本伝統工芸士会作品展」の開催

伝統工芸士が日頃より研鑽を重ねている技術・技法により制作した作品を展示紹介するとともにコンクールを実施して各賞を授与した。

共 催 日本伝統工芸士会
 後 援 経済産業省、石川県、金沢市、小松市、加賀市、能美市
 審 査 会 2024.10.4
 審査会場 ヒューリック葛西臨海ビル507
 会 期 2024.11.8～11.10

会 場 金沢21世紀美術館

出 品 数 180点

審 査 員 (敬称略)

◆ 総合審査委員

増村 紀一郎 (委員長)

漆芸家、東京藝術大学名誉教授 (重要無形文化財「髹漆」保持者)

池 田 喜 政 染織五芸池田企画 代表

今 井 敦 東京国立博物館主任研究員

加 島 勝 大正大学名誉教授・特遇教授

田 中 敦 子 工芸ライター

田 中 尚 株式会社東武百貨店 取締役常務執行役員

本店長兼本店販売推進部長

山 口 徳 彦 経済産業省 伝統的工芸品産業室長

原 田 元 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事

戸 田 敏 夫 日本伝統工芸士会会長 (江戸指物)

◆ 分野別審査委員

澤 井 伸 日本伝統工芸士会監事 (多摩織)

岸 野 房 江 日本伝統工芸士会幹事 (名古屋友禅)

梅 村 晴 峰 日本伝統工芸士会常任幹事 (赤津焼)

加 藤 白 次 日本伝統工芸士会常任幹事 (京焼・清水焼)

日 幡 寿 日本伝統工芸士会幹事 (備前焼)

躑 躅 森 健 日本伝統工芸士会副会長 (川連漆器)

古 今 祥 之 日本伝統工芸士会幹事 (京漆器)

有 岡 良 員 日本伝統工芸士会副会長 (香川漆器)

三 本 和 好 日本伝統工芸士会常任幹事 (加茂桐箆筥)

田 山 和 康 日本伝統工芸士会常任幹事 (南部鉄器)

今 井 達 昌 日本伝統工芸士会常任幹事 (大阪浪華錫器)

蓮 池 稔 日本伝統工芸士会常任幹事 (広島仏壇)

審査結果

衆議院議長賞	江戸切子	舞	鍋 谷 淳 一
経済産業大臣賞	高岡銅器	花器一よそおい	中 村 喜 久 雄
中部経済産業局長賞	薩摩焼	日本酒&ワインクーラー	佐 藤 秋 男
石川県知事賞	輪島塗	飾皿「龍蒔絵」	座 間 亘
金沢市長賞	九谷焼	鉢 ホタル手青海波 華曼陀羅	苧 野 直 樹
小松市長賞	九谷焼	赤絵白磁描割宝相華文飾瓶	山 本 秀 平
加賀市長賞	九谷焼	龍鱗蒔絵陶胎香水瓶	針 谷 崇 之
能美市長賞	新潟・白根仏壇	櫛仏壇	和 田 紀 弘
日本伝統工芸士会会長賞	井波彫刻	獅子頭	片 岸 一 利
一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会賞	金沢漆器	金胎渦型波蒔絵香合「渦・煌めき」	田 村 一 舟
異業種交流賞	九谷焼	藍九谷絵変わり吉祥文丸皿揃宴	山 本 大 輔
梅檀賞	大阪浪華錫器	錫青備前セット	永 井 喬

⑥第4 1 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会関係者懇親会の開催

大会運営に関わった関係者の懇親と伝産振興の未来について語り合う交流の機会とした。

共 催 日本伝統工芸士会

日 時 2024.11.8 18:00~20:00

会 場 能美市ふるさと交流研修センターウェルネスハウスさらい

参加人数	42名		
式次第	歓迎演奏	御陣乗太鼓保存会「御陣乗太鼓」	
	開宴のことば	能美市長	井出敏明
	歓迎挨拶	石川県伝統産業振興協議会会長	岡能久
	主催者挨拶	日本伝統工芸士会会長	戸田敏夫
	来賓挨拶	衆議院議員 自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟事務局長	佐々木紀
	余興	金沢芸妓による舞	
	閉宴のことば	石川県伝統工芸士会会長	田村満則

⑦伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）制定50周年記念式典

伝統的工芸品月間のPRのため、伝統的工芸品産業の振興に関する法律制定50周年記念式典を開催した。国会議員や指定産地組合関係者を招き、今年度の伝統的工芸品月間全国大会開催地である石川県の伝統工芸士の実演や邦楽器の演奏を実施した。

共催	経済産業省		
日時	2024.5.28	14:00~16:00	
会場	ザ・キャピトルホテル東急		
参加人数	222名		
式次第	主催者挨拶	経済産業大臣 (一財) 伝統的工芸品産業振興協会代表理事	齋藤健 原田元
	来賓挨拶	内閣総理大臣	岸田文雄
	伝産法50年の歩み		
	邦楽器演奏	三味線奏者 琴奏者	蓑田弘大 内藤美和
	記念講演	MOA美術館館長	内田篤呉
	製作実演	加賀友禅伝統工芸士 九谷焼伝統工芸士 輪島塗伝統工芸士 山中漆器伝統工芸士 金沢仏壇伝統工芸士 金沢箔伝統工芸士	古泉良範 福田良則 北濱幸作 東藤達也 横井吉則 津田朝喜

(4) ITを活用した伝統的工芸品活性化等事業

ホームページにおいて経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合的な情報発信を行った。

【閲覧数】PV数/2,021,544回、セッション数/604,807回

(5) 各種イベントへの後援等

産地組合、関係地方自治体からの申請に対し、後援等名義の使用を承認した(57件)。

4. 需要開拓事業

国内外の需要開拓を拡大するため、現地のニーズ把握のための展示会開催及び現在の生活に適応する商品づくりを支援する公募展を実施した。

(1) 伝統的工芸品公募展等事業

長い間受け継がれた確かな伝統的技術・技法に、現代生活の様式に合致し、新しいアイデアや表現を取り入れた市場性のある伝統的工芸品を公募し、魅力あふれる製品の開発を行う目的で実施。現代生活で使われるための需要を喚起し、国内だけではなく世界のマーケットにも通じる製品での市

場開拓を狙う。展示会を「国立新美術館」で開催することで、多くの方に作品をご覧頂いた。

① 開催概要

名 称	第49回 全国伝統的工芸品公募展
後 援	経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会
応 募	119工芸品、212点、応募者189名
審査会	2024.11.27（於：国立新美術館）
展 示	a. 全国伝統的工芸品公募展 会期：2024.11.29～12.9（12.3休館） 会場：国立新美術館 b. 全国伝統的工芸品公募展 優秀作品展 会期：2024.12.20～2025.1.9（12.28～1.3休館） 会場：伝統工芸青山スクエア

② 審査委員（50音順・敬称略）

委員長	増 村 紀一郎	東京藝術大学名誉教授、重要無形文化財「髹漆」保持者
副委員長	御手洗 照 子	有限会社 T-POT 代表取締役、株式会社 t.gallery 代表取締役
委員	内 田 篤 呉	MOA美術館・箱根美術館館長
	宇 野 万貴子	株式会社高島屋MD本部呉服部日本橋店呉服部長
	北 村 仁 美	富山市ガラス美術館副館長
	黒 川 廣 子	東京藝術大学教授、東京藝術大学美術館館長
	澤 井 伸	多摩織伝統工芸士会会長
	十四代 今泉今右衛門	陶芸家、公益社団法人日本工芸会副理事長、重要無形文化財「色絵磁器」保持者
	田 中 敦 子	工芸ライター
	棚 町 敦 子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
	戸 田 敏 夫	日本伝統工芸士会会長
	日 野 明 子	クラフトバイヤー
	山 口 徳 彦	経済産業省商務情報政策局商務・サービスグループ文化創造産業課伝統的工芸品産業室長
	原 田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事

③ 審査結果

・入賞 12点

内閣総理大臣賞	京指物『patol stool HINOKI』平山日用品店
経済産業大臣賞	江戸切子『光雨』青山弥生
経済産業省商務・サービス審議官賞	越前打刃物『野村型』野村和生
中小企業庁長官賞	有松・鳴海絞『白地 菱小格子』山口善照
日本商工会議所会頭賞	南部鉄器『鈴形鉄瓶』鈴木盛久
全国商工会連合会会長賞	京繡『かわひらこ』後藤美鈴
全国中小企業団体中央会会長賞	箱根寄木細工『昇華寄木四方盆』本間昇
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	大堀相馬焼『ふたたび -Soma Dual Layer Tumbler-』Koquela
日本伝統工芸士会会長賞	久米島紬『カンカキ 4玉』佐久田康子
若手奨励賞	久留米餅『光の回廊』池田大悟
若手奨励賞	江戸和竿『タナゴ竿』小春友樹
若手奨励賞	南部鉄器『布団型鉄瓶シマエナガ』畠山拓巳

・入選 113点

(2) 伝統的工芸品需要開拓展示等事業

① JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK (JTCW) 2024の開催

伝統的工芸品に対する国内外の消費者・流通関係者への理解の増進及び伝統的工芸品の生産者消費者の交流を目的として開催した。

今年で11回目となったこのイベントは、首都圏の3つのエリア（銀座・中目黒・青山）、28店舗のインテリア・ファッション・専門店などのショップが参加。伝統的工芸品の展示販売、実演やワークショップに加え、各店舗を巡るスタンプラリーを実施。イベント開催以降、数年にわたり継続的に取引が続けられ展開している店舗もある。

会 期 2024.10.18～10.31
メイン会場 伝統工芸 青山スクエア
参加店舗 【銀座】

工芸品	店舗名
南部鉄器	GINZA TANIZAWA TOKYO
江戸切子	銀座備長炭ショップ掌
九谷焼	暮らしの香り メインストア銀座
三川内焼	銀座 伊東屋 本店
輪島塗	FEELSEEN GINZA
高岡銅器	MATSUZAKI SHOTEN
本場大島紬	銀座 藤屋
金沢箔	玉川堂 銀座店
宮城伝統こけし	GINZA HAKKO 木の香
八女提灯	博品館TOY PARK銀座本店
樺細工	銀座 夏野
高岡漆器	東京鳩居堂 銀座本店
天草陶磁器	プレインピープル 東急プラザ銀座
土佐和紙	藤高タオル 銀座
越中和紙	本の教文館
村上木彫堆朱	漆器 山田平安堂 GINZA SIX店

参加店舗 【中目黒】

工芸品	店舗名
越中和紙	dessin
燕鎚起銅器	coverchord nakameguro
肥後象がん	Lamie
会津本郷焼	BIN
砥部焼	YAECA APARTMENT STORE

参加店舗 【青山】

工芸品	店舗名
丹波立杭焼	プレインピープル 青山
琉球漆器	ENCOUNTER Madu Aoyama
別府竹細工	VA-VA CLOTHING & VARIETY
牛首紬	染織工藝 むら田

信楽焼	TOKYO FANTASTIC 201
浄法寺塗	玉川堂 筭 KOGAI
京指物	LIVING MOTIF

② 伝統的工芸品展2024の開催

経済産業大臣指定伝統的工芸品をはじめ、全国の工芸品を一堂に集めた国内最大級の工芸品展を東京及び大阪で開催し、日本の伝統技術の基盤といえる手作り技術の継承、向上について国民の理解と支援を喚起し、暮らしに工芸品を普及浸透させるために需要の拡大を図り、我が国のもの作り産業の振興と工芸品産業を有する地域経済の発展に資することを目的として開催した。

a. 伝統的工芸品展 進化する伝統 暮らしを彩る匠の技

会 期 2024.7.17～7.22

会 場 阪急うめだ本店 9階催場

催事内容 経済産業大臣指定伝統的工芸品60品目、ふるさと工芸品4都府県出品

実演体験 22品目

出品工芸品一覧

経済産業大臣指定伝統的工芸品	
青森県	津軽塗
岩手県	秀衡塗 南部鉄器
秋田県	川連漆器 大館曲げわっぱ 秋田杉桶樽
山形県	羽越しな布 天童将棋駒 山形鋳物
栃木県	益子焼
千葉県	房州うちわ
東京都	村山大島紬 本場黄八丈 東京染小紋 江戸べっ甲
神奈川県	鎌倉彫
山梨県	甲州水晶貴石細工 甲州手彫印章
長野県	南木曽ろくろ細工
静岡県	駿河竹千筋細工
愛知県	有松・鳴海絞 赤津焼 三州鬼瓦工芸品 尾張仏具 名古屋節句飾
岐阜県	一位一刀彫
富山県	井波彫刻 高岡銅器 越中福岡の菅笠
石川県	加賀繡 九谷焼 山中漆器
福井県	越前箆笥 越前和紙
滋賀県	近江上布 彦根仏壇
京都府	京くみひも 京扇子/京うちわ 京仏壇/京仏具
大阪府	浪華本染め 大阪泉州桐箆笥
兵庫県	豊岡杞柳細工
奈良県	奈良筆
和歌山県	紀州箆笥
鳥取県	出雲石灯ろう
島根県	石州和紙
岡山県	備前焼
広島県	熊野筆
山口県	赤間硯
徳島県	大谷焼 阿波和紙
香川県	香川漆器
福岡県	久留米絣 小石原焼 博多人形
佐賀県	伊万里・有田焼
長崎県	波佐見焼 長崎べっ甲
熊本県	肥後象がん
沖縄県	琉球びんがた

ふるさと工芸品	
滋賀県	木珠(高級木製数珠玉)
京都府	黒谷和紙 京印章 京七宝
島根県	松江彫 出雲めのう細工
鹿児島県	薩摩つけ櫛 種子島刃物

入場者数 約6.8万名

そ の 他 阪急うめだ本店 poster サイネージ掲出、折込チラシ、DMハガキ、交通広告、
読売新聞タブロイド、阪急沿線の情報雑誌、インバウンドチラシ、会場マップ

b. 第3回全国伝統的工芸品祭「銀座名匠市」

会 期 2025.2.19～2.24

会 場 松屋銀座 8階イベントスクエア

催事内容 経済産業大臣指定伝統的工芸品73品目、ふるさと工芸品7都府県出品

実演体験 17品目

出品工芸品一覧

経済産業大臣指定伝統的工芸品	
岩手県	秀衡塗 岩谷堂簞笥 南部鉄器
宮城県	宮城伝統こけし 仙台簞笥 雄勝硯
秋田県	川連漆器 樺細工 大館曲げわっぱ 秋田杉桶樽
山形県	置賜紬 山形鋳物
栃木県	益子焼
埼玉県	行田足袋 秩父銘仙
東京都	多摩織 東京染小紋 東京手描友禅 東京本染注染 江戸指物 江戸和竿 東京銀器 江戸木目込人形 江戸節句人形 江戸から かみ 江戸木版画 江戸べっ甲 江戸硝子 江戸表具
神奈川県	鎌倉彫 小田原漆器 箱根寄木細工
山梨県	甲州水晶貴石細工 甲州印伝 甲州手彫印章
静岡県	駿河竹千筋細工
愛知県	尾張仏具 豊橋筆
岐阜県	一位一刀彫
富山県	高岡漆器 井波彫刻 高岡銅器 越中和紙
石川県	牛首紬 九谷焼 山中漆器 金沢箔 輪島塗
福井県	若狭塗
滋賀県	信楽焼
京都府	西陣織 京友禅 京小紋 京漆器 京指物 京仏壇 京仏具
奈良県	奈良筆 奈良墨
島根県	石見焼
広島県	熊野筆
山口県	萩焼 大内塗
徳島県	阿波正藍しじら織
愛媛県	大洲和紙
福岡県	博多織 久留米絣 上野焼 八女福島仏壇
長崎県	波佐見焼 三川内焼
鹿児島県	本場大島紬 薩摩焼
ふるさと工芸品	
秋田県	秋田銀線細工
静岡県	掛川手織葛布 駿河塗下駄
滋賀県	輪奈ビロード
京都府	丹後藤布 京七宝
広島県	宮島焼 戸河内刳物
島根県	松江彫 出雲めのう細工
鹿児島県	薩摩深水刃物 甲冑 薩摩つけ櫛

入場者数 27,357名

そ の 他 松屋銀座地下コンコース ショーウィンドウ展示、ポスター掲示、
1階入口柱ラッピング、新聞広告、DMハガキ、交通広告 他

③ 若者に対する伝統的工芸品の普及イベント (PASS THE BATON MARKET)

若い来場者に対し伝統工芸品の認知拡大をする他、百貨店等とは異なるPR手法を実践するため、東京都内の催事に参加した。

1) PASS THE BATON MARKET

会 期 2024.12.14～12.15

会 場 コクヨ東京品川オフィス『THE CAMPUS』(東京都品川区)

出 展 者 8産地／8事業者

2) デデデデンサン produced by PASS THE BATON

会 期 2025.1.28～2.6 ※2.4休館

会 場 ニュウマン新宿 1F NEWoMan Square (東京都新宿区)

出 展 者 8産地／8事業者

④ 幅広い層に向けた伝統的工芸品の普及促進催事(台東区浅草寺「歳の市」)

昨年に続き年末を代表する風物催事である浅草寺境内にて開催の「歳の市(通称 羽子板市)」に参加。期間中は日本人のみならず海外からの参拝者も含め約50万人が浅草寺を来訪。多くの方に認知していただく機会としてブースを設置し展示を行った。

会 期 2024.12.17～12.19

会 場 浅草寺境内(東京都台東区)

出 展 者 4産地／5事業者 及び 伝統工芸青山スクエア常設展示品

⑤ 能登半島被災地支援プロジェクト

能登半島地震で被災した経済産業大臣指定伝統的工芸品の産地を支援するため、全国各地の百貨店等で催事を開催した。開催に当たっては共通ロゴを掲示することで相乗効果を生み、消費者の能登半島地震被災産地への支援の機運を高めた。

・ 会 期 2024.5.24～6.3

会 場 丸善 丸の内本店(東京都中央区)

出展工芸品 九谷焼(2事業者)

・ 会 期 2024.6.5～6.11

会 場 横浜高島屋(横浜市西区)

出展工芸品 輪島塗(2事業者)、山中漆器(2事業者)、九谷焼、加賀繡

・ 会 期 2024.7.3～7.9

会 場 日本橋高島屋(東京都中央区)

出展工芸品 輪島塗(3事業者)、九谷焼

・ 会 期 2024.7.17～7.22

会 場 阪急うめだ本店(大阪市北区)

出展工芸品 高岡銅器、井波彫刻、越中福岡の菅笠、山中漆器、加賀繡、九谷焼、越前和紙、越前箆笥

・ 会 期 2024.8.14～8.20

会 場 丸善 日本橋店(東京都中央区)

出展工芸品 輪島塗、山中漆器、九谷焼(2事業者)、加賀友禅

・ 会 期 2024.9.11～9.17

会 場 丸善 丸の内本店、日本橋店(東京都中央区)

出展工芸品 山中漆器、九谷焼(6事業者)

・ 会 期 2024.10.9～10.22

会 場 新宿高島屋(東京都渋谷区)

出展工芸品 輪島塗(5事業者)

- ・ 会 期 2024.12.14～12.15
- 会 場 コクヨ東京品川オフィス「THE CAMPUS」(東京都品川区)
- 出展工芸品 高岡銅器、金沢仏壇、金沢箔
- ・ 会 期 2025.1.11～1.13
- 会 場 日本橋高島屋 (東京都中央区)
- 出展工芸品 輪島塗 (9事業者) 金沢漆器 (2事業者)、九谷焼、山中漆器 (4事業者)、
金沢箔、牛首紬 (2事業者)、金沢仏壇、加賀友禅、加賀繡
- ・ 会 期 2025.1.31～2.2
- 会 場 NEWoMan新宿 (東京都新宿区)
- 出展工芸品 輪島塗、山中漆器

(3) 海外展開支援等事業

伝統的工芸品産業製品及び製造者が日本の高品質な商品の魅力や、歴史・文化を背景とした独自性を海外のショールームで展示・PRし、伝統技術や商材への理解力、訴求力を高める取り組みを展開した。また、今後の展開の方向性を探るために香港においてテストマーケティングを実施した。

① 中国・重慶

重慶の常設展示場では、開業から約4年が過ぎ、幅広い現地消費者の意見が蓄積されてきている。富裕層向けのイベントや、各自治体と連携を深めた取組を行い、工芸品の良さをより多くの現地の人々に伝えている。引き続き、ターゲットを絞り、自治体との連携を深めて工芸品の魅力の発信を行うと同時に情報収集も行う。

会 場 青山SQUARE重慶店 (渝中区白象街259号附13号)
期 間 2024.4.1～2025.3.31 (月曜定休)
取扱点数 450点以上

② 香港

香港の2会場にてテストマーケティングを実施。海外展開を予定または検討している事業者を対象に参加者を募り、海外市場進出に向けた準備と現地消費者ニーズの検証機会とした。期間中、来店者を対象としたアンケート調査も実施し、香港市場における生の反応や意見を直接収集した。

会 場 ハッピーバレーmonmaya旗艦店 (89 Wong Nai Chung Road)
香港そごう9階プロモーションスペース (555 Hennessy Road, Causeway Bay)
期 間 2024.11.26～2025.2.28 (香港そごうは2024.12.10まで)
取扱点数 228点 (26事業者)

(5) 有力団体・企業との連携推進

- ・ 一般財団法人大日本蚕糸会に対し、指定産地の中から絹産業振興に貢献した候補者を推薦した。
- ・ 三井広報委員会が開催する三井ゴールデン匠賞に審査員を派遣した。

5. その他の振興事業

同一業種あるいは、全国の伝統工芸士等による情報交換等を目的に、それぞれの団体における活動について当協会は側面的に支援し、連携の促進に努めた。

(1) 日本伝統工芸士会

① 産地伝統工芸士会会長会議 (総会) の開催

開催日 2024.6.21
会 場 ホテルメトロポリタン (東京都豊島区)

② 第42回全国伝統工芸士大会の開催

開催日 2024.11.7
式典 石川県小松市團十郎劇場うらら（石川県小松市）
懇親会 みやびの宿 加賀百万石（石川県加賀市）

③ 日本伝統工芸士会作品展 入賞者作品展の開催

会期 2025.1.10～1.16
会場 伝統工芸青山スクエア（東京都港区）
出品者 9工芸品12名

（２）全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会

① 総会の開催

開催日 2024.6.26
会場 伝産協会

② 第26回全国伝統的工芸品仏壇仏具展の開催

会期 2025.2.7～2.13
会場 伝統工芸青山スクエア

Ⅱ. 法人の概況

1. 設立年月日

2011年（平成23年）5月26日

2. 定款に定める目的

この法人は、伝統的工芸品産業の振興を図り、もって国民の生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- （1）伝統的工芸品の製造の事業に関する経営の改善及び合理化その他当該事業の健全な経営に関し、調査、研究及び指導を行うこと。
- （2）展示会の開催その他需要の開拓を行うこと。
- （3）会員に対し、伝統的工芸品に関する需要の状況、製造の技術又は技法、原材料等について情報の提供を行うこと。
- （4）伝統的工芸品産業に関する振興計画及び共同振興計画の作成及びその実施について指導、助言等を行うこと。
- （5）伝統的工芸品の原材料、製造過程、品質等の改善に関する研究を行うこと。
- （6）伝統的工芸品及び伝統的工芸品を素材とした製品の品質表示について指導、助言等を行うこと。
- （7）伝統的工芸品に関する資料の収集及び調査を行うこと。
- （8）伝統的な技術又は技法に熟練した従事者の認定を行うこと。
- （9）伝統的工芸品産業に関する活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に必要な情報の提供を行うこと。
- （10）伝統的工芸品産業の後継者の育成、技術・技法の継承及び改善に関する事業を行うこと。
- （11）伝統的工芸品及び伝統的工芸品に関連する物品の販売の事業を行うこと。
- （12）その他この法人の目的を達成するため、必要な事業を行うこと。

4. 会員の状況

会 員	2025.3.31現在	2024.3.31現在
産地組合	2 4 1	2 4 0
団 体	4 3	4 4
企業・個人	1 2 9	1 2 6
都府県・政令市	5 6	5 6
市区町村	1 1 3	1 1 4
合 計	5 8 2	5 8 0

5. 主たる事務所の状況

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目1番22号

Ⅲ. 役員会等に関する事項

1. 評議員会の開催

(1) 第22回評議員会（オンライン併用）

開催日	2024.6.25
会場	当協会会議室
出席評議員	7名
議案	第1号議案 令和5年度 事業報告及び決算報告
報告事項	報告 1 令和5年度 公益目的支出計画実施報告
	報告 2 伝統的工芸品産業の振興に関する法律50周年記念行事
	報告 3 能登半島地震義援金
	報告 4 令和5年度 伝統工芸青山スクエア年次報告
	報告 5 令和5年度 伝統的工芸品出品者協議会収支決算報告

2. 理事会の開催

(1) 第62回理事会（オンライン併用）

開催日	2024.6.10
会場	当協会会議室
出席理事	15名
議案	第1号議案 2023年度（令和5年度）事業報告・決算報告
	第2号議案 評議員の任期満了に伴う理事会提案評議員候補者
	第3号議案 常務理事の役員報酬の変更
	第4号議案 定時評議員会の開催
報告事項	報告 1 50周年記念催事
	① 伝産法制定50周年記念式典
	② 伝産法制定50周年記念フェア
	報告 2 伝統的工芸品月間全国大会・石川大会
	① 地元協議会設立総会
	② 伝産協会・日本伝統工芸士会役員懇談会
	報告 3 能登半島地震の義援金の被災者への配布
	報告 4 理事会交流会収支決算
	報告 5 伝統工芸青山スクエア年次報告
	報告 6 伝統的工芸品出品者協議会収支決算
	報告 7 全国伝統工芸品振興市議会協議会総会
	報告 8 能登半島地震被災産地支援催事

(2) 第63回理事会（書面開催）

開催日	2024.10.4
議案	第1号議案 伝統的工芸品統一表示事業実施規程の変更

(3) 第64回理事会

開催日	2024.11.8
会場	金沢市役所第一本庁舎 兼六会議室（石川県金沢市）
出席理事	14名
議案	第1号議案 伝統的工芸品出品者協議会の解散に伴う事業及び残余財産の譲受

報告事項	第2号議案	諸規程の改定
	第3号議案	理事の改選に向けた検討
	報告 1	伝統的工芸品の新指定
	報告 2	表示事業の改定
	報告 3	香港でのテストマーケティングおよび現地視察
	報告 4	能登半島被災者支援補助金業務サポート
	報告 5	来年度の全国大会
	報告 6	伝統工芸青山スクエアの半期実績（令和6年4～9月）
	報告 7	来年度の伝統工芸青山スクエアの出展条件
	報告 8	PR展開（羽田空港国際線到着ゲートのサイネージ、雑誌広告）
	報告 9	後継者育成事業
	報告 10	阪急うめだ展の開催
	報告 11	JTCW2024の開催
	報告 12	欧州（EU、英国）での伝統マーク商標更新
	報告 13	評議員選定委員会報告
	報告 14	日本フィランソロピック協会寄付金事業
	報告 15	三井ゴールデン匠賞 結果

（4）第65回理事会（オンライン併用）

開催日	2025.3.19		
会場	当協会会議室		
出席理事	14名		
議案	第1号議案	令和7年度事業計画および収支予算	
	第2号議案	評議員会に推薦する理事候補者（令和7年6月改選）	
	第3号議案	定款の変更	
	第4号議案	諸規程の改定	
	第5号議案	協会証紙の新規発行の終了	
	第6号議案	名誉伝統工芸士の新規認定の終了	
報告事項	報告 1	令和7年度伝統的工芸品月間全国大会および伝産協会設立 50 周年記念	
	報告 2	令和7年度事業説明会	
	報告 3	能登半島被災者支援補助金業務サポート	
	報告 4	西陣織会館での伝統的工芸品の展示・販売	
	報告 5	伝産品生産額の推定値算出方法	
	報告 6	公募展報告	
	報告 7	歳の市開催報告	
	報告 8	デデデデンサンプロジェクト開催報告	
	報告 9	銀座名匠市開催報告	
	報告 10	香港でのテストマーケティング実施報告	
	報告 11	伝統工芸青山スクエア報告	
	報告 12	自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟総会開催報告	

3. 評議員選定委員会の開催

開催日	2024.7.18
会場	当協会会議室
議案	評議員の退任に伴う理事会提案候補者の選任について

4. 伝統的工芸品産地連絡会議の開催

開催日 2024.9.25
会場 アジア会館（東京都港区）
出席議員 15名

5. 業務執行会議の開催

開催日 2024.5.29、10.25、2025.3.7
会場 当協会会議室

6. 評議員

（1）年度当初の評議員（8名）

池畑孝治	一般社団法人日本旅行業協会業務執行理事・事務局長
内田篤呉	MOA美術館・箱根美術館館長
及川勝	全国中小企業団体中央会 常務理事
加島勝	大正大学名誉教授・大正大学文学部歴史学科特遇教授
佐々木淳	全国商工会連合会 事務局長
長沼良行	公益財団法人公益法人協会 常務理事
安田洋子	一般社団法人日本百貨店協会 専務理事
山口敏雄	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事

（2）評議員の異動

2024.4.15 就任

高島大浩 独立行政法人日本貿易振興機構 理事

7. 理事・監事

（1）年度当初の理事（15名）・監事（3名）

代表理事	原田元	佐賀県陶磁器工業協同組合代表理事（伊万里・有田焼）
副代表理事	舞鶴一雄	西陣織工業組合理事（西陣織）
業務執行理事	高瀬淳	会津漆器協同組合理事長（会津塗）
専務理事	佐藤卓	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
常務理事	河井隆徳	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
	上原重樹	甲府印伝商工業協同組合理事長（甲州印伝）
	桑原博	塩沢織物工業協同組合理事長（本塩沢、塩沢紬）
	五月女利光	東京都染色工業協同組合理事長（東京染小紋、東京無地染）
	佐々木辰二	美濃焼伝統工芸品協同組合理事長（美濃焼）
	田中雅一	京都府仏具協同組合理事長（京仏壇、京仏具）
	露木清勝	小田原箱根伝統寄木協同組合代表理事（箱根寄木細工）
	日南尚之	輪島漆器商工業協同組合理事長（輪島塗）
	福井隆一郎	堺刃物商工業協同組合連合会理事長（堺打刃物）
	山本篤	日本伝統工芸士会副会長（九谷焼）
	吉田泰樹	富山県和紙協同組合理事長（越中和紙）
監事	阿久津正志	阿久津総合法律事務所
	池田喜政	染織五芸池田企画

(2) 理事・監事の異動 なし

8. 評議員選定委員

(1) 年度当初の評議員選定委員（4名）

阿久津 正 志 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会監事
(阿久津総合法律事務所)

佐々木 淳 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会評議員
(全国商工会連合会事務局長)

鈴木 貴 宏 公益社団法人中小企業研究センター専務理事

丸 山 尚 久 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会事務局長

(2) 評議員選定委員の異動 なし

IV. 庶務事項

1. 基本財産の造成

※下記（１）（２）の表の金額は、時価評価ではなく実際の入金金額を記載。

（１）基本財産の内訳

単位：円

区 分	令和 6 年度	昭和50年度～令和 5 年度	累 計
国	0	300,000,000	300,000,000
地方公共団体	0	295,000,000	295,000,000
民 間	0	186,630,000	186,630,000
伝統的工芸品産業振興協会	0	860,000	860,000
計	0	782,490,000	782,490,000

（２）民間寄付金・負担金の業種別状況

単位：円

業種	令和 6 年度		昭和50年度～令和 5 年度		累 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
織 物	0	0	41	32,600,000	41	32,600,000
染色・繊維製品	0	0	28	11,540,000	28	11,540,000
陶 磁 器	0	0	40	13,050,000	40	13,050,000
漆 器	0	0	25	7,690,000	25	7,690,000
木 竹 品	0	0	36	10,600,000	36	10,600,000
金 工 品	0	0	22	5,035,000	22	5,035,000
仏 壇	0	0	19	5,725,000	19	5,725,000
和紙・文具	0	0	31	4,750,000	31	4,750,000
諸工芸品	0	0	46	8,500,000	46	8,500,000
銀 行 等	0	0	9	75,000,000	9	75,000,000
団体・個人	0	0	29	12,140,000	29	12,140,000
計	0	0	326	186,630,000	326	186,630,000

2. 会員名簿(582)

○会員名簿(順不同)2025.3.31現在

指定品の産地組合(241)※2業種に同じ産地組合

＜織物＞(38)

二風谷民芸組合※
置賜紬伝統織物協同組合
羽越しな布振興協議会
昭和村からむし後継者育成協議会
茨城県本場結城紬織物協同組合
栃木県本場結城紬織物協同組合
伊勢崎織物工業組合
桐生織物協同組合
秩父銘仙協同組合
村山織物協同組合
黄八丈織物協同組合
八王子織物工業組合
塩沢織物工業協同組合
小千谷織物同業協同組合
十日町織物工業協同組合
長野県織物工業組合
石川県牛首紬生産振興協同組合
滋賀県麻織物工業協同組合
西陣織工業組合
鳥取県弓浜絋協同組合
阿波しじら織協同組合
博多織工業組合
久留米絋協同組合
都城絹織物事業協同組合
鹿児島県本場大島紬協同組合連合会
本場奄美大島紬協同組合
本場大島紬織物協同組合
鹿児島県絹織物工業組合
久米島紬事業協同組合
宮古織物事業協同組合
読谷山花織事業協同組合
琉球絋事業協同組合
那覇伝統織物事業協同組合
与那国町伝統織物協同組合
喜如嘉芭蕉布事業協同組合
竹富町織物事業協同組合
石垣市織物事業協同組合
知花花織事業協同組合

＜染色＞(18)

東京都染色工業協同組合

東京都工芸染色協同組合
関東注染工業協同組合
協同組合加賀染振興協会
愛知県絞工業組合
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
京鹿の子絞振興協同組合
京都絞工業協同組合
京友禅協同組合連合会
京都友禅協同組合
京都工芸染匠協同組合
京都黒染工業協同組合
京都紋章糊置協同組合
京都紋章工芸協同組合
京都染色補正工業協同組合
京都手描友禅協同組合
協同組合オリセン
琉球びんがた事業協同組合

＜繊維その他＞(5)

「行田足袋」振興会
石川県加賀刺繍協同組合
三重県組紐協同組合
京都刺繍協同組合
京くみひも工業協同組合

＜陶磁器＞(33)

大堀相馬焼協同組合
会津本郷焼事業協同組合
笠間焼協同組合
益子焼協同組合
佐渡無名異焼の会
石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
とこなめ焼協同組合
美濃焼伝統工芸品協同組合
赤津焼工業協同組合
瀬戸染付焼工業協同組合
三州瓦工業協同組合
萬古陶磁器工業協同組合
伊賀焼振興協同組合
越前焼工業協同組合
信楽陶器工業協同組合
京都陶磁器協同組合連合会
丹波立杭陶磁器協同組合
出石焼陶友会
石見陶器工業協同組合
協同組合岡山県備前焼陶友会
萩陶芸家協会

大谷焼陶業協会
砥部焼協同組合
小石原焼陶器協同組合
上野焼協同組合
佐賀県陶磁器工業協同組合
唐津焼協同組合
三川内陶磁器工業協同組合
波佐見陶磁器工業協同組合
小代焼窯元の会
天草陶磁振興協議会
鹿児島県薩摩焼協同組合
壺屋陶器事業協同組合

＜漆器＞(20)

青森県漆器協同組合連合会
岩手県漆器協同組合
秋田県漆器工業協同組合
会津漆器協同組合
伝統鎌倉彫事業協同組合
伝統小田原漆器組合
村上堆朱事業協同組合
新潟市漆器同業組合
木曽漆器工業協同組合
伝統工芸高岡漆器協同組合
輪島漆器商工業協同組合
山中漆器連合協同組合
金沢漆器商工業協同組合
飛騨春慶連合協同組合
越前漆器協同組合
若狭漆器協同組合
京都漆器工芸協同組合
紀州漆器協同組合
大内塗漆器振興協同組合
香川県漆器工業協同組合

＜木工品・竹工品＞(32)

二風谷民芸組合※
岩谷堂箆笥生産協同組合
仙台箆笥協同組合
角館工芸協同組合
大館曲げわっぱ協同組合
秋田杉桶樽協同組合
奥会津三島編組品振興協議会
春日部桐たんす組合
江戸指物協同組合
江戸和竿組合
小田原箱根伝統寄木協同組合

静岡竹工芸協同組合
加茂箆笥協同組合
松本家具工芸協同組合
南木曽ろくろ工芸協同組合
名古屋桐箆笥工業協同組合
飛騨一位一刀彫協同組合
(一社)岐阜和傘協会
井波彫刻協同組合
越前指物協同組合
京都木工芸協同組合
大阪欄間工芸協同組合
大阪唐木指物組合
大阪泉州桐箆笥組合
大阪簾工業協同組合
兵庫県杞柳製品協同組合
奈良県高山茶釜生産協同組合
紀州桐箆笥協同組合
紀州製竿組合
宮島細工協同組合
別府竹製品協同組合
都城弓製造業協同組合

＜金工品＞(15)

岩手県南部鉄器協同組合連合会
山形鋳物伝統工芸組合
東京金銀器工業協同組合
東京アンチモニー工芸協同組合
燕銅器工芸組合
越後与板打刃物組合
越後三条鍛冶集団
信州打刃物工業協同組合
伝統工芸高岡銅器振興協同組合
越前打刃物産地協同組合連合会
堺刃物商工業協同組合連合会
錫器事業協同組合
三木工業協同組合
高知県土佐刃物連合協同組合
肥後象がん振興会

＜仏壇・仏具＞(17)

山形県仏壇商工業協同組合
新潟仏壇組合
白根佛壇協同組合
長岡地域仏壇組合
三条・燕・西蒲仏壇組合
飯山仏壇事業協同組合
金沢仏壇商工業協同組合

七尾仏壇協同組合
名古屋仏壇商工協同組合
三河仏壇振興協同組合
尾張仏具技術保存会
彦根仏壇事業協同組合
京都府仏具協同組合
大阪宗教用具商工協同組合
広島宗教用具商工協同組合
八女福島仏壇仏具協同組合
鹿児島県川辺仏壇協同組合

＜和紙＞(9)

内山紙協同組合
富山県和紙協同組合
美濃手すき和紙協同組合
福井県和紙工業協同組合
鳥取県因州和紙協同組合
石州和紙協同組合
阿波手漉和紙商工業協同組合
大洲手すき和紙協同組合
高知県手すき和紙協同組合

＜文具＞(11)

雄勝硯生産販売協同組合
豊橋筆振興協同組合
鈴鹿製墨協同組合
播州算盤工芸品協同組合
播州算盤製造業組合
奈良毛筆協同組合
奈良製墨組合
雲州算盤協同組合
熊野筆事業協同組合
川尻毛筆事業協同組合
山口県赤間硯生産協同組合

＜石工品・貴石細工＞(5)

真壁石材協同組合
山梨県水晶美術彫刻協同組合
岡崎石工団地協同組合
京都府石材業協同組合
来待石灯ろう協同組合

＜人形・こけし＞(11)

鳴子木地玩具協同組合
遠刈田伝統こけし工人組合
弥治郎こけし業協同組合
仙台地区伝統こけし工人組合

東京都雛人形工業協同組合
東京歳之市羽子板商組合
岩槻人形協同組合
駿河雛人形伝統工芸士会
中部人形節句品工業協同組合
京人形商工業協同組合
博多人形商工業協同組合

＜諸工芸品＞(24)

山形県将棋駒協同組合
房州うちわ振興協議会
江戸からかみ協同組合
江戸切子協同組合
東京伝統木版画工芸協同組合
一般社団法人東部硝子工業会
東京鼈甲組合連合会
東京邦楽器商工業協同組合
一般社団法人東京表具経師内装文化協会
甲府印伝商工業協同組合
山梨県印章店協同組合
岐阜提灯協同組合
尾張七宝協同組合
越中福岡の菅笠振興会
日本人造真珠硝子細貨工業組合
京都扇子団扇商工協同組合
京表具協同組合連合会
播州釣針協同組合
福山邦楽器製造業協同組合
香川県うちわ協同組合連合会
八女提灯協同組合
長崎鼈甲組合連合会
山鹿灯籠振興会
沖縄県三線製作事業協同組合

＜工芸用具・工芸材料＞(3)

庄川木工挽物会
石川県箔商工業協同組合
伊勢形紙協同組合

指定品以外の組合・団体・企業(172)

＜商工会議所＞(5)

京都商工会議所
福岡商工会議所
彦根商工会議所
東京商工会議所
十日町商工会議所

＜団体＞(38)

(一社)いけばなインターナショナル
伊予手抄和紙振興会＊
(一財)京都伝統工芸産業支援センター
(公財)京都伝統産業交流センター
京都陶磁器卸商業協同組合
(一財)京都陶磁器協会＊
(一財)熊本県伝統工芸館
黒谷和紙振興会＊
埼玉県小川和紙工業協同組合＊
(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会
(一財)省エネルギーセンター
全国染色協同組合連合会＊
全国手すき和紙連合会＊
全国伝産会館運営連絡協議会
全国伝産金工品組合協議会
全国伝産陶磁器組合協議会
全国伝産和紙筆墨硯組合協議会
全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会※
全国籐商工業連合会＊
(一社)全日本きもの振興会
(一財)大日本蚕糸会
(公財)高岡地域地場産業センター
竹製品全国振興連盟＊
(一財)地域伝統芸能活用センター
(特非)伝統工芸つくも神
伝統的工芸品出品者協議会
東京都漆器商工業協同組合＊
徳島県竹製品組合連合会＊
(一社)奈良県工芸協会
奈良製墨組合＊
日本漆器協同組合連合会＊
(公社)日本図案家協会
日本伝統工芸士会
(一社)日本伝統染色工芸保存協会
(一財)日本陶業連盟＊
(一社)日本人形協会＊
福岡県伝統的工芸品振興協議会
三井広報委員会

＜銀行＞(6)

(株)商工組合中央金庫＊
住友信託銀行(株)＊
(一社)全国地方銀行協会＊
(株)三菱 UFJ 銀行＊
三菱信託銀行(株)＊
(株)りそな銀行＊

＜企業・個人＞(123)

(株)相澤企画
(株)愛知屋佛壇本舗
阿久澤宏一郎＊
浅井仏壇店
(株)浅野商店
アスクール(株)
(株)アルテスペース
泉屋(株)
(株)和泉利器製作所
一和堂工芸(株)
井上スダレ(株)
(有)井上彦兵衛商店
今井崇子＊
岩手県産(株)
(株)岩野平三郎製紙所
(有)岩谷堂家具センター
(株)印伝屋 上原勇七
(株)永楽屋
大阪錫器(株)
大阪仏壇仏具センター(株)越前屋
(株)オーシャンネットワーク
(株)オゼキ
(有)家具のあづま
(株)笠井仏壇工芸
(有)カネキン小椋製盆所
兼崎俊一＊
(株)Culture Generation Japan
川合康夫＊
川嶋信之＊
(株)岸タンス店
(株)北廊
木下らんま店
(株)久宝堂
(有)桐の蔵
(株)久保田号
(株)熊木
河野打刃物 河野忠喜
(株)弘報社
(有)工房田中
斉藤三郎＊
佐藤卓見＊
佐藤哲夫＊
(有)さとくガーデン
The FAN(同)
(株)C.A.L.
(株)シガ木工

(有)茂野タンス店
漆器山富
(有)漆芸しばた
自分堂
(株)シメノ
(株)水玄京
(株)杉浦仏壇店
(株)鈴木佛壇店
誠心堂
(株)西武百貨店＊
(株)世界文化社
(株)ソーゴブレイン
(株)大黒屋佛壇店
(株)ダイヤモンド社＊
田上民芸
高辻康弘＊
(株)高橋新吾タンス店
詫間宝石彫刻
たくみ工芸
(有)竹ふえ
(株)田中家具製作所
たにてる工芸
土山健介＊
露木啓雄＊
(有)データワールド
(株)TVC
寺西文男＊
テレビ朝日映像(株)
(株)トータルメディア開発研究所
(株)東武百貨店
東洋佐々木ガラス(株)
TOTO(株)＊
(株)トンナ佛宝堂
中澤唐木(株)
ナカダ(株)
永田淳子
(有)永田刃物
(株)永田屋仏壇店
成田商事(株)
西村正信＊
日昇(株)
日中民間工芸家友好促進会(株)
(株)ニッポン手仕事図鑑
日本文教出版(株)
(有)箱根丸山物産
(株)平田染工
(株)福宝

藤井 毅＊
(株)藤木伝四郎商店
布施川武充＊
双葉通信社(株)
ブリタニカ・ジャパン(株)
(有)ブレインカフェ
ホクエツ印刷(株)
(株)毎日映画社
(株)真多呂人形
(株)マネジメントパートナーズ
(株)まほろ印工
(株)マルミミ
(株)三越日本橋本店
(株)三菱 UFJ フィナンシャル・グループ＊
光村図書出版(株)
南青山リアルエステート(株)
(株)三村松
(株)宮崎＊
望月一宏
モテギ(株)
森谷大仏堂
(株)山谷産業
(株)ヤマトマネキン
ユーシーカード(株)
(株)米永
(株)ランブルフィッシュ
(株)Ryu Gin Japan
(有)蓮華堂
渡邊恒子＊
(株)ワントゥーテン

注) ＊＝寄付会員

※＝寄付及び会費会員

<地方自治体> (169)

青 森 県
弘 前 市
岩 手 市
盛 岡 市
奥 州 市
宮 城 市
仙 台 市
白 石 市
大 巻 市
蔵 崎 市
秋 田 市
大 館 市
湯 沢 市
仙 北 市
山 形 市
米 沢 市
福 島 市
会 津 市
浪 津 市
会 津 市
三 枝 市
茨 城 市
結 城 市
笠 間 市
桜 川 市
栃 木 市
小 山 市
益 子 市
群 馬 市
伊 勢 市
桐 生 市
埼 玉 市
さい 市
春 日 市
秩 父 市
千 葉 市
東 武 市
八 蔵 市
神 奈 川 市
鎌 倉 市

小 田 原 市
箱 根 市
新 潟 市
村 上 市
加 茂 市
小 千 谷 市
燕 三 市
十 日 町 市
南 魚 沼 市
長 野 市
飯 山 市
塩 尻 市
南 木 曽 町 市
山 梨 市
甲 府 市
静 岡 市
静 岡 市
愛 知 市
名 古 屋 市
常 滑 市
豊 橋 市
瀬 戸 市
岡 崎 市
あ ま 市
岐 阜 市
高 山 市
土 岐 市
多 治 市
美 濃 市
岐 阜 市
三 重 市
鈴 鹿 市
四 日 市
伊 賀 市
菰 野 市
富 山 市
高 岡 市
砺 南 市
富 山 市
朝 日 市

石 川 県
金 沢 市
輪 島 市
七 尾 市
加 賀 市
能 美 市
白 山 市
福 井 市
小 浜 市
越 前 市
鯖 江 市
越 前 市
滋 賀 市
甲 賀 市
京 都 市
大 阪 市
大 阪 市
堺 市
兵 庫 市
小 野 市
西 脇 市
三 木 市
丹 波 市
豊 岡 市
奈 良 市
生 駒 市
奈 良 市
和 歌 山 市
海 和 市
鳥 取 市
島 根 市
浜 田 市
岡 前 市
備 前 市
真 庭 市
広 島 市
廿 日 市
熊 野 市
山 口 市
宇 部 市

徳 島 県
吉 野 市
香 高 市
丸 愛 市
砥 内 市
高 松 市
い 福 市
福 八 市
久 留 米 市
東 佐 市
伊 万 津 市
唐 有 田 市
長 佐 世 保 市
波 熊 本 市
熊 山 大 別 府 市
宮 都 鹿 児 島 市
奄 鹿 児 島 市
南 九 州 市
沖 古 島 市
宮 那 覇 市
石 南 風 原 市
久 米 谷 市
読 大 宜 味 村

事業報告の附属明細書

2024（令和6）年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成していない。

決算報告書

《 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 》

I. 財務諸表

1. 貸借対照表	3 4
2. 正味財産増減計算書	3 5 ～ 4 0
3. 財産目録	4 1
4. 財務諸表に対する注記	4 2 ～ 4 3
5. 附属明細書	4 4

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	111,069	462,053	△ 350,984
銀行預金	115,185,711	37,793,160	77,392,551
貯蔵品	1,483,582	1,267,847	215,735
未収金	46,659,339	88,347,007	△ 41,687,668
前払金	323,000	445,823	△ 122,823
仮払金	463,943	1,860,185	△ 1,396,242
流動資産合計	164,226,644	130,176,075	34,050,569
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	548,240,000	601,420,000	△ 53,180,000
銀行預金	92,895,000	92,895,000	0
基本財産合計	641,135,000	694,315,000	△ 53,180,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,526,912	13,085,002	△ 2,558,090
被災産地支援資産	210,000	10,544,855	△ 10,334,855
特定資産合計	10,736,912	23,629,857	△ 12,892,945
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	1,144,456	1,743,434	△ 598,978
什器備品	27,779,425	33,145,748	△ 5,366,323
電話加入権	128,616	128,616	0
保証金	1,418,100	1,418,100	0
その他の固定資産合計	30,470,597	36,435,898	△ 5,965,301
固定資産合計	682,342,509	754,380,755	△ 72,038,246
資産合計	846,569,153	884,556,830	△ 37,987,677
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	124,570,281	86,840,738	37,729,543
預り金	1,138,345	1,402,903	△ 264,558
前受金	1,649,413	369,110	1,280,303
仮受金	42,400	212,830	△ 170,430
賞与引当金	6,555,143	6,631,926	△ 76,783
流動負債合計	133,955,582	95,457,507	38,498,075
2. 固定負債			
退職給付引当金	34,305,144	33,538,628	766,516
固定負債合計	34,305,144	33,538,628	766,516
負債合計	168,260,726	128,996,135	39,264,591
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	300,000,000	300,000,000	0
地方公共団体寄付金	295,000,000	295,000,000	0
民間寄付金	46,345,000	109,859,855	△ 63,514,855
指定正味財産合計	641,345,000	704,859,855	△ 63,514,855
(うち基本財産への充当額)	(641,135,000)	(694,315,000)	(△ 53,180,000)
(うち特定資産への充当額)	(210,000)	(10,544,855)	(△ 10,334,855)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	36,963,427	50,700,840	△ 13,737,413
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	678,308,427	755,560,695	△ 77,252,268
負債及び正味財産合計	846,569,153	884,556,830	△ 37,987,677

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	5,306,120	2,692,030	2,614,090
基本財産運用益	5,306,120	2,692,030	2,614,090
② 受取会費	31,738,764	31,162,087	576,677
会員(市区町村)受取会費	5,950,000	5,950,000	0
会員受取会費	25,788,764	25,212,087	576,677
③ 受取補助金等収益	686,538,319	696,728,439	△ 10,190,120
国庫補助金収益	686,538,319	696,728,439	△ 10,190,120
④ 事業収益	219,356,682	226,815,399	△ 7,458,717
伝統工芸士認定事業収益	3,636,450	4,180,900	△ 544,450
伝統証紙事業収益	1,990,888	1,553,743	437,145
伝統工芸青山スクエア事業負担金収益	58,326,951	61,851,485	△ 3,524,534
伝統的工芸品月間事業負担金収益	70,000	70,000	0
全国くらしの工芸展負担金収益	2,673,000	2,722,500	△ 49,500
伝統的工芸品展負担金収益	46,409,000	50,549,000	△ 4,140,000
全国伝統的工芸品公募展負担金収益	1,193,500	1,287,000	△ 93,500
伝統的工芸品展販売促進事業収益	87,580,318	79,670,885	7,909,433
その他事業収益	1,327,575	1,439,886	△ 112,311
ふれあい広場都府県負担金収益	16,149,000	23,490,000	△ 7,341,000
⑤ 受取寄附金	14,198,095	239,400	13,958,695
受取寄附金	78,966	239,400	△ 160,434
受取寄附金振替額	14,119,129	0	14,119,129
⑥ 雑収益	158,212	4,675	153,537
受取利息	93,296	2,075	91,221
雑収益	64,916	2,600	62,316
経常収益計	957,296,192	957,642,030	△ 345,838
(2) 経常費用			
① 事業費	878,595,876	878,787,800	△ 191,924
役員報酬	17,266,500	14,814,900	2,451,600
職員給与	57,943,037	53,266,444	4,676,593
法定福利費(役職員)	13,121,353	12,937,243	184,110
退職給付費用	2,624,109	3,201,558	△ 577,449
賞与引当金繰入額	5,173,975	5,501,846	△ 327,871
アルバイト賃金	29,058,739	28,707,824	350,915
法定福利費(アルバイト)	1,440,507	1,729,286	△ 288,779
講習会開催費	54,665,170	55,760,744	△ 1,095,574
パンフレット等作成費	41,051,078	11,967,230	29,083,848
IT維持・更新費	1,888,964	7,266,094	△ 5,377,130
広告宣伝費	87,211,832	125,755,600	△ 38,543,768
借料及び損料	108,911,067	112,737,534	△ 3,826,467
委員手当	1,320,000	1,550,000	△ 230,000
委員等旅費	5,433,500	6,487,469	△ 1,053,969
会議費	339,133	313,326	25,807
講師謝金	6,688,380	6,496,000	192,380
講師旅費	8,239,618	8,084,932	154,686
実演費	15,973,590	22,155,950	△ 6,182,360
説明員旅費	19,185,901	15,188,414	3,997,487
試験費	4,915,519	4,670,261	245,258
認定費	810,909	592,900	218,009
調査費	78,377,210	50,378,296	27,998,914
備品費	0	265,001	△ 265,001
光熱水料	4,504,107	4,069,549	434,558
梱包運送費	16,020,380	12,667,838	3,352,542
装飾費	57,020,527	70,075,908	△ 13,055,381
内装費	0	9,064,799	△ 9,064,799
職員旅費	7,051,176	5,984,736	1,066,440
印刷費	3,716,464	3,766,697	△ 50,233
写真撮影費	511,500	184,800	326,700
表彰式/借料及び損料	1,040,600	0	1,040,600

科 目	当年度	前年度	増減
通信運搬費	6,081,415	5,288,253	793,162
消耗品費	4,186,211	4,014,949	171,262
雑役務費	67,832,725	68,951,826	△ 1,119,101
清掃料	2,983,788	2,712,612	271,176
警備費	165,000	352,000	△ 187,000
保険料	1,023,970	1,197,930	△ 173,960
試作費	115,000	113,018	1,982
新規従事者支援費	0	22,590,000	△ 22,590,000
栄典費	27,264	20,774	6,490
研修会開催費	661,136	190,460	470,676
証紙等製造費	1,794,364	1,367,345	427,019
イベント開催費	133,567,198	111,006,795	22,560,403
交際費	154,155	27,090	127,065
記念品費	1,694,935	880,000	814,935
租税公課	338,200	265,400	72,800
備品等処分損	0	256,721	△ 256,721
減価償却費	6,371,118	3,635,067	2,736,051
雑費	94,552	274,381	△ 179,829
②管理費	92,437,729	72,141,732	20,295,997
役員報酬	2,538,500	2,251,100	287,400
職員給与	11,200,741	7,786,209	3,414,532
法定福利費(役職員)	2,549,862	1,971,794	578,068
退職給付費用	700,497	657,603	42,894
賞与引当金繰入額	1,381,168	1,130,080	251,088
借料及び損料	38,805,904	38,748,934	56,970
委員等旅費	1,865,200	1,995,380	△ 130,180
会議費	64,933	52,656	12,277
光熱水料	1,854,934	1,681,435	173,499
職員旅費	599,383	430,628	168,755
通信運搬費	196,283	151,395	44,888
消耗品費	18,313	159,543	△ 141,230
雑役務費	8,794,991	8,775,897	19,094
清掃料	1,265,160	1,150,164	114,996
支払寄付金	16,009,000	0	16,009,000
交際費	12,548	15,000	△ 2,452
厚生費	311,544	422,796	△ 111,252
租税公課	3,668,151	3,308,414	359,737
備品等処分損	0	514,462	△ 514,462
減価償却費	58,113	58,113	0
雑費	542,504	880,129	△ 337,625
経常費用計	971,033,605	950,929,532	20,104,073
当期経常増減額	△ 13,737,413	6,712,498	△ 20,449,911
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,737,413	6,712,498	△ 20,449,911
一般正味財産期首残高	50,700,840	43,988,342	6,712,498
一般正味財産期末残高	36,963,427	50,700,840	△ 13,737,413
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産収入	0	10,000	△ 10,000
(2) 基本財産評価損益	△ 53,180,000	△ 27,164,000	△ 26,016,000
(3) 受取寄附金	3,784,274	10,544,855	△ 6,760,581
(4) 一般正味財産への振替額	△ 14,119,129	0	△ 14,119,129
当期指定正味財産増減額	△ 63,514,855	△ 16,609,145	△ 46,905,710
指定正味財産期首残高	704,859,855	721,469,000	△ 16,609,145
指定正味財産期末残高	641,345,000	704,859,855	△ 63,514,855
Ⅲ 正味財産期末残高	678,308,427	755,560,695	△ 77,252,268

【正味財産増減計算書内訳表】
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目	実施事業等会計																
	伝統工芸士	功労	教育	ふるさと	振興指導	産地診断	普及	センター	月間推進	IT活用	公募展	フォーラム	活用展	子ども体験	図画・作文	共通	小計
I 一般正味財産増減の部																	
1. 経常増減の部																	
(1) 経常収益																	
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産運用益																	
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員(市区町村)受取会費																	0
会員受取会費																	0
受取補助金等	15,931,236	0	61,214,099	0	3,239,367	5,984,537	95,366,022	143,527,863	19,643,063	6,539,734	14,193,376	0	0	43,700,235	0	0	409,339,532
国庫補助金収益	15,931,236	0	61,214,099	0	3,239,367	5,984,537	95,366,022	143,527,863	19,643,063	6,539,734	14,193,376	0	0	43,700,235	0	0	409,339,532
事業収益	3,636,450	0	0	0	0	0	0	58,326,951	70,000	0	1,193,500	0	0	16,149,000	0	0	79,375,901
伝統工芸士認定事業収益	3,636,450																3,636,450
伝統証紙事業収益																	0
伝統工芸青山スクエア事業負担金収益								58,326,951									58,326,951
伝統的工芸品月間事業負担金収益									70,000					0			70,000
全国くらしの工芸展負担金収益																	0
伝統的工芸品展負担金収益																	0
全国伝統的工芸品公募展負担金収益											1,193,500						1,193,500
伝統的工芸品展販売促進事業収益																	0
その他事業収益							0				0						0
ふれあい広場都府県負担金収益														16,149,000			16,149,000
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金																	0
受取寄附金振替額																	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息																	0
雑収益																	0
経常収益計	19,567,686	0	61,214,099	0	3,239,367	5,984,537	95,366,022	201,854,814	19,713,063	6,539,734	15,386,876	0	0	59,849,235	0	0	488,715,433
(2) 経常費用																	
事業費	23,062,898	0	62,708,775	0	6,989,108	7,990,520	97,814,598	187,467,186	25,137,391	7,088,464	19,238,850	0	0	63,319,736	0	0	500,817,526
役員報酬	2,398,125	0	959,250	0	2,877,750	1,438,875	479,625	959,250	1,918,500	479,625	479,625	0	0	0	0	0	11,990,625
職員給与	2,190,179	0	972,822	0	1,945,644	1,217,357	2,636,720	18,174,282	5,113,961	244,535	4,263,406	0	0	4,380,357	0	0	41,139,263
法定福利費(役職員)	684,334	0	294,237	0	676,547	390,096	602,823	3,196,133	1,259,921	95,859	947,559	0	0	928,308	0	0	9,075,817
退職給付費用	136,974	0	60,840	0	121,681	76,133	164,900	136,974	319,827	15,293	266,633	0	0	273,948	0	0	1,573,203
賞与引当金繰入額	270,072	0	119,959	0	239,918	150,113	325,135	270,072	630,605	30,154	525,722	0	0	540,144	0	0	3,101,894
アルバイト賃金	0	0	0	0	0	0	0	18,295,838	0	0	0	0	0	2,173,775	0	0	20,469,613
法定福利費(アルバイト)	0	0	0	0	0	0	0	438,365	0	0	0	0	0	0	0	0	438,365
講習会開催費	0	0	54,305,170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,305,170
パンフレット等作成費	0	0	0	0	0	0	41,051,078	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,051,078
IT維持・更新費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	924,000	0	0	0	0	0	0	924,000
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	45,743,000	0	0	0	256,190	0	0	7,109,888	0	0	53,109,078
借料及び損料	803,797	0	0	0	0	0	0	97,024,996	1,510,905	0	1,110,900	0	0	427,509	0	0	100,878,107
委員手当	520,000	0	0	0	290,000	0	0	0	140,000	0	260,000	0	0	0	0	0	1,210,000
委員等旅費	523,910	0	0	0	64,920	0	0	0	166,260	0	283,530	0	0	504,970	0	0	1,543,590
会議費	50,485	0	0	0	1,028	0	0	0	14,421	0	7,559	0	0	230,356	0	0	303,849
講師謝金	0	0	424,380	0	0	0	100,000	0	90,000	0	0	0	0	1,661,000	0	0	2,275,380
講師旅費	0	0	0	0	0	0	134,480	0	251,660	0	0	0	0	2,181,038	0	0	2,567,178
実演費	0	0	0	0	0	0	150,000	15,531,130	0	0	0	0	0	0	0	0	15,681,130
説明員旅費	0	0	0	0	0	0	0	6,693,600	0	0	0	0	0	0	0	0	6,693,600
試験費	4,915,519	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,915,519
認定費	810,909	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	810,909
調査費	0	0	0	0	0	2,238,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,238,500
光熱水料	0	0	0	0	0	0	0	4,374,752	0	0	129,355	0	0	0	0	0	4,504,107
梱包運送費	0	0	0	0	0	0	0	1,664,214	4,181,344	0	2,354,058	0	0	6,807,080	0	0	15,006,696
装飾費	0	0	0	0	0	0	0	4,650,800	5,182,342	0	4,691,555	0	0	23,035,849	0	0	37,560,546
職員旅費	871,813	0	4,168	0	687,945	117,066	214,481	0	385,254	0	10,891	0	0	1,075,959	0	0	3,367,577
印刷費	234,300	0	0	0	0	0	0	0	531,553	0	612,522	0	0	2,238,344	0	0	3,616,719
写真撮影費	0	0	0	0	0	0	0	0	297,000	0	214,500	0	0	0	0	0	511,500
表彰式/借料及び損料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,040,600	0	0	0	0	0	1,040,600
通信運搬費	520,666	0	251,494	0	62,434	80,856	987,759	87,926	218,566	80,755	818,726	0	0	260,312	0	0	3,369,494
消耗品費	116,388	0	38,821	0	472	4,886	32,829	8,945	12,920	104,772	36,321	0	0	1,434,953	0	0	1,791,307
雑役務費	7,916,767	0	5,277,634	0	5,713	2,276,638	5,108,914	6,458,497	2,902,352	5,113,471	79,198	0	0	5,273,457	0	0	40,412,641
清掃料	0	0	0	0	0	0	0	2,983,788	0	0	0	0	0	0	0	0	2,983,788
警備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165,000	0	0	165,000
保険料	0	0	0	0	0	0	0	320,770	0	0	0	0	0	228,430	0	0	549,200
試作費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
栄典費	27,264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,264
研修会開催費	71,396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,396
証紙等製造費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	実施事業等会計																
	伝統工芸士	功 労	教育	ふるさと	振興指導	産地診断	普及	センター	月間推進	IT活用	公募展	フォーラム	活用展	子ども体験	図画・作文	共通	小計
イベント開催費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,492,300	0		1,492,300
交際費	0	0	0	0	1,296	0	0	0	0	0	0	0	0	2,758	0		4,054
記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	840,000	0	0	804,001	0		1,644,001
租税公課	0	0	0	0	0	0	72,000	4,000	10,000	0	10,000	0	0	40,000	0		136,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	10,854	6,192,854	0	0	0	0	0	0	0		6,203,708
雑費	0	0	0	0	13,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		13,760
管理費																	
役員報酬																	
職員給与																	
法定福利費(役職員)																	
退職給付費用																	
賞与引当金繰入額																	
借料及び損料																	
委員等旅費																	
会議費																	
光熱水料																	
職員旅費																	
通信運搬費																	
消耗品費																	
雑役務費																	
清掃料																	
支払寄付金																	
交際費																	
厚生費																	
租税公課																	
減価償却費																	
雑費																	
経常費用計	23,062,898	0	62,708,775	0	6,989,108	7,990,520	97,814,598	187,467,186	25,137,391	7,088,464	19,238,850	0	0	63,319,736	0	0	500,817,526
当期経常増減額	△ 3,495,212	0	△ 1,494,676	0	△ 3,749,741	△ 2,005,983	△ 2,448,576	14,387,628	△ 5,424,328	△ 548,730	△ 3,851,974	0	0	△ 3,470,501	0	0	△ 12,102,093
2. 経常外増減の部																	
(1) 経常外収益																	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,495,212	0	△ 1,494,676	0	△ 3,749,741	△ 2,005,983	△ 2,448,576	14,387,628	△ 5,424,328	△ 548,730	△ 3,851,974	0	0	△ 3,470,501	0	0	△ 12,102,093
一般正味財産期首残高																	
一般正味財産期末残高																	
II 指定正味財産増減の部																	
①基本財産収入																	
②基本財産評価損益																	
③受取寄附金																	
④一般正味財産への振替額																	
当期指定正味財産増減額																	
指定正味財産期首残高																	
指定正味財産期末残高																	
III 正味財産期末残高																	

科 目	その他会計										法人会計	合計
	後継者	コンサル	ネットワーク	需要開拓展示	海外展開	伝統証紙	くらし展	連携推進	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,306,120	5,306,120
基本財産運用益										0	5,306,120	5,306,120
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,738,764	31,738,764
会員(市区町村)受取会費										0	5,950,000	5,950,000
会員受取会費										0	25,788,764	25,788,764
受取補助金等	2,457,297	69,799,390	764,871	115,800,519	34,282,334	0	0	0	0	223,104,411	54,094,376	686,538,319
国庫補助金収益	2,457,297	69,799,390	764,871	115,800,519	34,282,334					223,104,411	54,094,376	686,538,319
事業収益	0	0	0	46,539,000	0	1,990,888	2,786,117	87,580,318	0	138,896,323	1,084,458	219,356,682
伝統工芸士認定事業収益										0		3,636,450
伝統証紙事業収益						1,990,888				1,990,888		1,990,888
伝統工芸青山スクエア事業負担金収益										0		58,326,951
伝統的工芸品月間事業負担金収益										0		70,000
全国くらしの工芸展負担金収益							2,673,000			2,673,000		2,673,000
伝統的工芸品展負担金収益				46,409,000						46,409,000		46,409,000
全国伝統的工芸品公募展負担金収益										0		1,193,500
伝統的工芸品展販売促進事業収益								87,580,318		87,580,318		87,580,318
その他事業収益				130,000			113,117	0		243,117	1,084,458	1,327,575
ふれあい広場都府県負担金収益										0		16,149,000
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,198,095	14,198,095
受取寄附金										0	78,966	78,966
受取寄附金振替額	0									0	14,119,129	14,119,129
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	158,212	158,212
受取利息										0	93,296	93,296
雑収益										0	64,916	64,916
経常収益計	2,457,297	69,799,390	764,871	162,339,519	34,282,334	1,990,888	2,786,117	87,580,318	0	362,000,734	106,580,025	957,296,192
(2) 経常費用												
事業費	4,585,625	72,263,786	1,491,184	171,262,642	38,509,676	3,287,692	3,883,019	82,494,726	0	377,778,350	0	878,595,876
役員報酬	1,438,875	1,918,500	0	479,625	479,625	959,250	0	0		5,275,875		17,266,500
職員給与	1,217,357	1,217,357	972,822	8,766,030	3,407,535	244,535	489,069	489,069		16,803,774		57,943,037
法定福利費(後職員)	390,096	434,132	206,165	1,901,778	766,178	139,895	103,646	103,646		4,045,536		13,121,353
退職給付費用	76,133	76,132	60,840	548,228	213,107	15,293	30,586	30,586		1,050,906		2,624,109
賞与引当金繰入額	150,113	150,113	119,959	1,080,943	420,185	30,154	60,307	60,307		2,072,081		5,173,975
アルバイト賃金	0	0	0	8,589,126	0	0	0	0	0	8,589,126		29,058,739
法定福利費(アルバイト)	0	0	0	1,002,142	0	0	0	0	0	1,002,142		1,440,507
講習会開催費	0	0	0	360,000	0	0	0	0	0	360,000		54,665,170
パンフレット等作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		41,051,078
IT維持・更新費	0	0	0	964,964	0	0	0	0	0	964,964		1,888,964
広告宣伝費	0	0	0	34,102,754	0	0	0	0	0	34,102,754		87,211,832
借料及び損料	92,960	0	0	980,000	6,960,000	0	0	0	0	8,032,960		108,911,067
委員手当	0	0	0	110,000	0	0	0	0	0	110,000		1,320,000
委員等旅費	0	0	0	3,889,910	0	0	0	0	0	3,889,910		5,433,500
会議費	0	0	0	31,850	3,434	0	0	0	0	35,284		339,133
講師謝金	120,000	0	0	4,293,000	0	0	0	0	0	4,413,000		6,688,380
講師旅費	71,940	0	0	5,600,500	0	0	0	0	0	5,672,440		8,239,618
実演費	0	0	0	292,460	0	0	0	0	0	292,460		15,973,590
説明員旅費	0	0	0	12,492,301	0	0	0	0	0	12,492,301		19,185,901
試験費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		4,915,519
認定費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		810,909
調査費	0	67,338,710	0	0	8,800,000	0	0	0	0	76,138,710		78,377,210
光熱水料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		4,504,107
梱包運送費	0	0	0	1,013,684	0	0	0	0	0	1,013,684		16,020,380
装飾費	0	0	0	16,306,461	0	0	3,153,520	0	0	19,459,981		57,020,527
職員旅費	65,701	512,678	0	1,425,407	1,679,813	0	0	0	0	3,683,599		7,051,176
印刷費	0	0	0	99,745	0	0	0	0	0	99,745		3,716,464
写真撮影費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		511,500
表彰式/借料及び損料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1,040,600
通信運搬費	64,568	134,652	2,667	2,257,783	148,553	88,737	14,961	0	0	2,711,921		6,081,415
消耗品費	14,306	29,834	590	2,315,256	31,374	1,181	2,363	0	0	2,394,904		4,186,211
雑役務費	172,836	360,435	128,141	11,142,678	15,483,085	14,283	28,567	90,059	0	27,420,084		67,832,725
清掃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2,983,788
警備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		165,000
保険料	0	0	0	454,270	20,500	0	0	0	0	474,770		1,023,970
試作費	0	0	0	65,000	0	0	0	0	0	65,000		115,000
栄典費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		27,264
研修会開催費	589,740	0	0	0	0	0	0	0	0	589,740		661,136
証紙等製造費	0	0	0	0	0	1,794,364	0	0	0	1,794,364		1,794,364

科 目	その他会計										法人会計	合計
	後継者	コンサル	ネットワーク	需要開拓展示	海外展開	伝統証紙	くらし展	連携推進	共通	小計		
イベント開催費	0	0	0	50,353,839	0	0	0	81,721,059	0	132,074,898		133,567,198
交際費	120,000	1,242	0	13,019	15,840	0	0	0	0	150,101		154,155
記念品費	0	0	0	50,934	0	0	0	0	0	50,934		1,694,935
租税公課	1,000	90,000	0	85,200	26,000	0	0	0	0	202,200		338,200
減価償却費	0	0	0	113,368	54,042	0	0	0	0	167,410		6,371,118
雑費	0	0	0	80,387	405	0	0	0	0	80,792		94,552
管理費											92,437,729	92,437,729
役員報酬											2,538,500	2,538,500
職員給与											11,200,741	11,200,741
法定福利費(役職員)											2,549,862	2,549,862
退職給付費用											700,497	700,497
賞与引当金繰入額											1,381,168	1,381,168
借料及び損料											38,805,904	38,805,904
委員等旅費											1,865,200	1,865,200
会議費											64,933	64,933
光熱水料											1,854,934	1,854,934
職員旅費											599,383	599,383
通信運搬費											196,283	196,283
消耗品費											18,313	18,313
雑役務費											8,794,991	8,794,991
清掃料											1,265,160	1,265,160
支払寄付金											16,009,000	16,009,000
交際費											12,548	12,548
厚生費											311,544	311,544
租税公課											3,668,151	3,668,151
減価償却費											58,113	58,113
雑費											542,504	542,504
経常費用計	4,585,625	72,263,786	1,491,184	171,262,642	38,509,676	3,287,692	3,883,019	82,494,726	0	377,778,350	92,437,729	971,033,605
当期経常増減額	△ 2,128,328	△ 2,464,396	△ 726,313	△ 8,923,123	△ 4,227,342	△ 1,296,804	△ 1,096,902	5,085,592	0	△ 15,777,616	14,142,296	△ 13,737,413
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,128,328	△ 2,464,396	△ 726,313	△ 8,923,123	△ 4,227,342	△ 1,296,804	△ 1,096,902	5,085,592	0	△ 15,777,616	14,142,296	△ 13,737,413
一般正味財産期首残高												50,700,840
一般正味財産期末残高												36,963,427
II 指定正味財産増減の部												
① 基本財産収入											0	0
② 基本財産評価損益											△ 53,180,000	△ 53,180,000
③ 受取寄附金										0	3,784,274	3,784,274
④ 一般正味財産への振替額										0	△ 14,119,129	△ 14,119,129
当期指定正味財産増減額										0	△ 63,514,855	△ 63,514,855
指定正味財産期首残高												704,859,855
指定正味財産期末残高												641,345,000
III 正味財産期末残高												678,308,427

財 産 目 録
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	現金手元有高	111,069		
銀行預金	三菱UFJ銀行他	115,185,711		
貯蔵品	切手および伝統証紙有高	1,483,582		
未収金	頒布収益・事業負担金他	46,659,339		
前払金	展示場動産保険他	323,000		
仮払金		463,943		
流動資産合計			164,226,644	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	利付国債	359,170,000		
	社債	189,070,000		
銀行預金	普通預金(三菱UFJ銀行)	92,895,000		
基本財産合計		641,135,000		
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	退職給与分	10,526,912		
被災産地支援資産	能登半島地震寄附金	210,000		
特定資産合計		10,736,912		
(3) その他の固定資産				
建物附属設備	内装工事	1,144,456		
什器備品	展示場備品、事務用備品	27,779,425		
電話加入権	NTT	128,616		
保証金		1,418,100		
その他の固定資産合計		30,470,597		
固定資産合計			682,342,509	
資産合計				846,569,153
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	事業展経費他	124,570,281		
預り金	職員等源泉所得税他	1,138,345		
前受金	出展負担金他	1,649,413		
仮受金	過入金分他	42,400		
賞与引当金	職員賞与引当金	6,555,143		
流動負債合計			133,955,582	
2. 固定負債				
退職給付引当金		34,305,144		
固定負債合計			34,305,144	
負債合計				168,260,726
正味財産				678,308,427

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの…決算時の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物附属設備・什器備品…定額法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間(5年)に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については、過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 …

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金 …

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	601,420,000	0	53,180,000	548,240,000
銀行預金	92,895,000			92,895,000
小計	694,315,000	0	53,180,000	641,135,000
特定資産				
退職給付引当資産	13,085,002		2,558,090	10,526,912
被災産地支援資産	10,544,855	3,784,274	14,119,129	210,000
小計	23,629,857	3,784,274	16,677,219	10,736,912
合計	717,944,857	3,784,274	69,857,219	651,871,912

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	548,240,000	(548,240,000)	-	-
銀行預金	92,895,000	(92,895,000)	-	-
小計	641,135,000	(641,135,000)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	10,526,912	-	-	(10,526,912)
被災産地支援資産	210,000	(210,000)	-	-
小計	10,736,912	(210,000)	(0)	(10,526,912)
合計	651,871,912	(641,345,000)	(0)	(10,526,912)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,793,348	648,892	1,144,456
什器備品	73,043,429	45,264,004	27,779,425
合計	74,836,777	45,912,896	28,923,881

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
国庫補助金	経済産業省	0	686,538,319	686,538,319	0	—
合計		0	686,538,319	686,538,319	0	

6. その他

(1)退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	34,305,144
退職給付引当金	34,305,144

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	3,324,606
退職給付費用	3,324,606

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

7. 実施事業資産

実施事業資産は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高
建物附属設備	1,144,456
什器備品	27,027,644
合計	28,172,100

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	14,119,129
合計	14,119,129

9. 重要な後発事象

令和7年4月1日付で伝統的工芸品出品者協議会の全事業を譲り受けている。

譲り受ける事業の内容: 伝統的工芸品の販売事業

伝統的工芸品出品者協議会の令和7年3月31日現在の資産負債の状況は次のとおりである。

資産合計 93,615千円

負債合計 48,384千円

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,631,926	6,555,143	6,631,926	0	6,555,143
退職給付引当金	33,538,628	3,324,606	2,558,090	0	34,305,144

監 査 報 告 書

令和 7 年 6 月 3 日

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
代 表 理 事 原 田 元 殿

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

監事 阿 久 津 正 志 ㊟

監事 池 田 喜 政 ㊟

監事 畝 井 俊 樹 ㊟

私たち監事は、当法人の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令または定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上